

SONY®

4-472-202-02(1)

ICレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

 **警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

準備する

録音する

再生する

消去する

編集する

FMラジオを聞く

メニューについて

パソコンを活用する

その他／困ったときは

ICD-UX543F/UX544F

警告 安全のために

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る
- 故障したら使わない
- 万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなど人身事故が生じます。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



接触禁止



下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。



禁止



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



禁止



雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。



接触禁止

マニュアルについて



紙で見る

本書(取扱説明書)

ICレコーダーの詳細操作情報を記載しています。

かんたんスタートガイド(別冊)

ICレコーダーの基本操作(録音・再生・消去)や上手に録音、再生するための情報などを記載しています。

Sound Organizerを使う(別冊)

パソコンにインストールできるソフト「Sound Organizer」のインストール方法やできること、基本的な操作方法などを記載しています。



パソコン
スマートフォン
タブレットで見る

ヘルプガイド

パソコンでICレコーダーを楽しむ情報も含めた詳細な情報や、困ったときの対処方法を調べることができます。(→ 128 ページ)

また、外出先などでスマートホンやタブレット端末でも調べることもできます。

ICレコーダー サポート・お問い合わせページ(→ 128 ページ)

トラブルの解決方法や接続機器の互換性情報、最新情報を掲載しています。

Sound Organizerヘルプ(→「Sound Organizerを使う」(別冊))

Sound Organizerの使いかたについて詳しく記載しています。

目次

安全のために.....	2
警告表示の意味.....	2
⚠ 警告	3
マニュアルについて.....	4

準備する

箱の中身を確認する.....	9
各部のなまえ.....	10
充電する.....	12
パソコンを使って充電する.....	12
USB ACアダプターを使って充電する.....	13
電源を入れる.....	14
電源を入れる.....	14
電源を切る.....	14
画面オフタイマー.....	14
初期設定をする.....	15
電池を充電後すぐに時計を合わせる.....	15
操作音を設定する.....	16
メニューを使って時計を合わせる.....	17
メニューを使って操作音の設定をする.....	19
ホームメニューで使いたい機能を選ぶ.....	20

オプションメニューで設定する.....	21
フォルダとファイルについて.....	22
メモリーカードを入れる.....	23
メモリーを切り換える.....	25
誤操作を防止する(ホールド).....	26

録音する

録音を始める.....	28
録音を止める.....	29
録音レベルガイドについて.....	30
録音中の音をモニターする.....	30
その他の操作.....	31
録音の設定を変える.....	32
用途に合わせた録音シーンを選ぶ.....	32
MYシーンの設定項目をお好みに編集する.....	34
個別の録音設定項目を変更する.....	34
音がしたとき自動録音する — VOR (Voice Operated Recording) 録音.....	37
接続して録音する.....	38
他の機器の音声を録音する.....	38

再生する

ファイルを選んで再生する	40
録音した直後に再生する	41
再生を止める	41
その他の操作	41
ファイル情報を表示する	42
再生の設定を変える	43
再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする — クリアボイス機能	43
録音を書き起こす(書き起こし用再生)	44
再生速度を調節する — DPC (Digital Pitch Control)	46
音質を切り換える(エフェクト)	47
再生モードを変える	48
より便利な再生方法	50
高音質で再生する	50
再生中に早送り／早戻しする — キュー／レビュー	50
聞きたいところをすばやく探す — イージーサーチ機能	51
カレンダーから録音した日付を選んで再生する	52
希望の時刻に再生を始める — アラーム再生	54

接続して再生する	56
ICレコーダーの音声を他の機器で録音する	56

消去する

ファイルを消去する	57
フォルダの中身を一度に消去する	58

編集する

フォルダ内のファイルを整理する	59
ファイルを別のフォルダに移動する	59
ファイルを別のフォルダにコピーする	60
トラックマークを使う	62
トラックマークを付ける	62
トラックマークを消去する	63
すべてのトラックマークを消去する	64
ファイルを分割する	65
現在位置で分割する	65
すべてのトラックマーク位置で分割する	66
名前を変更する	68
フォルダの名前を変更する	68
ファイル名を変更する	69

ファイルを保護する.....	71
----------------	----

FMラジオを聞く

FMラジオ放送を選局する.....	72
地域を設定して放送局を自動登録する (初めてお使いになるとき).....	72
プリセット登録されている放送局から選局する (プリセット選局).....	74
放送局を周波数で選局する (マニュアルスキャン選局).....	75
FMラジオ放送を録音する.....	76
プリセットリストを設定、編集する.....	77
地域を指定して登録する(地域設定).....	77
プリセットした地域設定を切り換える (プリセットリスト選択).....	79
放送局名を変更する(放送局名変更).....	80
自動でプリセット登録する (オートプリセット).....	81
手動でプリセット登録する.....	82
プリセット登録を消去する.....	83
FMラジオ受信の設定を変更する.....	84
受信感度を切り換える.....	84

スキャン感度を切り換える.....	85
音声の出力先を切り換える.....	86

メニューについて

各種設定メニューの使いかた.....	87
各種設定メニュー項目一覧.....	88
オプションメニュー項目一覧.....	89

パソコンを活用する

パソコンにつないで使う.....	93
ICレコーダーをパソコンに接続する.....	93
フォルダとファイルの構成.....	94
ICレコーダーをパソコンから取りはずす.....	97

その他

USB ACアダプターにつないで使う.....	99
ICレコーダーを取りはずす.....	100
使用上のご注意.....	101
主な仕様.....	104
必要なシステム構成.....	104

ICレコーダーの仕様	105
最大録音時間	107
音楽ファイル最大再生時間／ファイル数	107
電池の持続時間.....	108
保証書とアフターサービス	109
保証書	109
アフターサービス.....	109

索引.....	132
---------	-----

困ったときは

困ったときは.....	110
症状から調べる.....	111
ICレコーダーのリセットについて	111
こんなときは(ICレコーダー)	112
こんなときは(Sound Organizer)	120
メッセージ表示一覧.....	122
システム上の制約	127
サポートホームページで調べる	128
ヘルプガイドで調べる.....	128
安全のために.....	129
△注意	129
著作権と商標について.....	130

箱の中身を確認する

本体(1)

ステレオヘッドホン(1)^{*1,*3}

密閉型ステレオイヤールシーバー (1)^{*2,*3}

USB ACアダプター (1)^{*2}

オーディオコード(1)^{*2}

USB接続補助ケーブル(1)

お使いのパソコンにICレコーダーを直接接続できない場合は、付属のUSB接続補助ケーブルをお使いください。

キャリングポーチ(1)

取扱説明書 本書(1)

かんたんスタートガイド(1)

Sound Organizerを使う(1)

保証書(1)

「製品登録」のおすすめ(1)

*1 ICD-UX543Fのみ

*2 ICD-UX544Fのみ

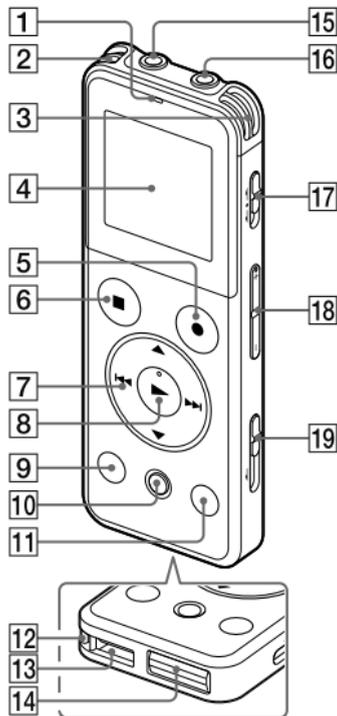
*3 この取扱説明書では、付属のステレオヘッドホン (ICD-UX543Fのみ)と密閉型ステレオイヤールシーバー (ICD-UX544Fのみ)を総称して「ステレオヘッドホン」と呼びます。

この取扱説明書で説明している以外の変更や改造を行った場合、ICレコーダーを使用できなくなることがありますので、ご注意ください。

本製品はメモリースティック マイクロ™ (M2™)メディアに対応しています。“M2™”は“メモリースティック マイクロ™”の略称です。本文では今後略称M2™を用いて記述します。

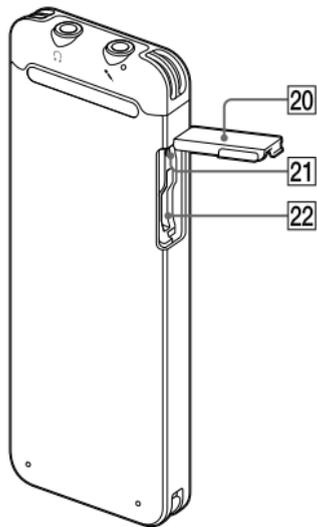
各部のなまえ

本体(表面)



- 1 録/再ランブ
- 2 内蔵マイク(L)
- 3 内蔵マイク(R)
- 4 表示窓
- 5 ● 録音/一時停止ボタン
- 6 ■ 停止ボタン
- 7 コントロールボタン (▲ DPC (速度調節)、▼ ↻ (リピート) A-B / ◀◀ (早戻し)、▶▶ (早送り))
- 8 ▶ (再生/決定)ボタン*¹
- 9 戻る/ホームボタン
- 10 トラックマークボタン
- 11 オプションボタン
- 12 ストラップ取り付け部
(ストラップは付属していません。)
- 13 スピーカー
- 14 USB蓋
(USB端子はふたの中に格納されています。)
- 15 🎧 (マイク)ジャック*¹
- 16 🎧 (ヘッドホン)ジャック
- 17 ホールド・電源スイッチ
- 18 音量-/+ボタン*¹
- 19 USBつまみ(スライド式USB端子用)

本体(裏面)



- 20 スロット蓋
- 21 RESET (リセット)ボタン(スロット蓋の中にあります)
- 22 M2™/microSDメモリーカードスロット*²
(スロット蓋の中にあります)

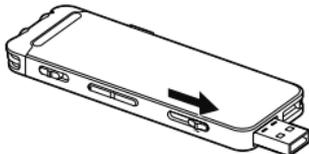
*¹ 凸点(突起)がついています。操作の目安、端子の識別としてお使いください。

*² 本書では、M2™とmicroSDカードを総称して「メモリーカード」と呼びます。また、M2™ / microSDメモリーカードスロットは「メモリーカードスロット」と呼びます。

充電する

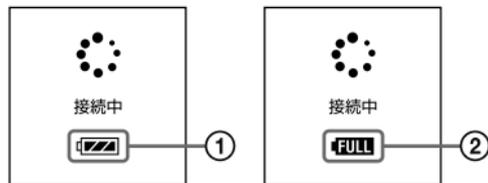
パソコンを使って充電する

- 1 ICレコーダーをパソコンにつなぐ。
側面のUSBつまみを矢印の方向へスライドして、USB端子を起動しているパソコンにつなぎます。*1



パソコンのUSBポートへ

充電中は、「接続中」と電池マーク①がアニメーション表示されます。



充電が完了すると、電池マークが「FULL」(②)と表示されます。

はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、電池マークが「FULL」になるまで連続して充電してください。

電池を使いきった状態から約2時間30分で充電が完了します。*2

- 2 ICレコーダーをパソコンから取りはずす。
必ず下記の手順で取りはずしてください。この手順で行わないと、ICレコーダーにデータが入っている場合に、データが破損して再生できなくなるおそれがあります。

① 録／再ランプが消えていることを確認する。

② パソコンで下記の操作を行う。

Windowsの場合：

タスクバー（パソコンの画面右下）にあるアイコンを左クリックしてください。



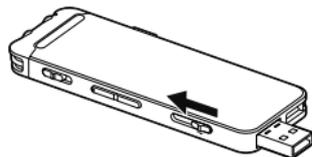
→ [IC RECORDERの取り外し] (Windows 7、Windows 8) または、[USB大容量記憶装置 – ドライブを安全に取り外します] (Windows XP、Windows Vista) を左クリックしてください。アイコン、メニューの表示はOSの種類によって異なる場合があります。お使いのパソコンの設定によっては、タスクバーにアイコンが表示されない場合があります。

Macの場合：

Finderのサイドバーに表示されている「IC RECORDER」の取りはずしアイコンをクリックしてください。

パソコンから取りはずす方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

③ ICレコーダーをパソコンのUSBポートからはずし、ICレコーダーのUSBつまみを矢印の方向にスライドしてUSB端子を収納する。



- *1 お使いのパソコンにICレコーダーを直接接続できない場合は、付属のUSB接続補助ケーブルをお使いください。
- *2 室温で電池残量がない状態から電池を充電したときの目安です。電池の残量や電池の状態などにより、前ページの充電時間と異なる場合があります。

■ ご注意

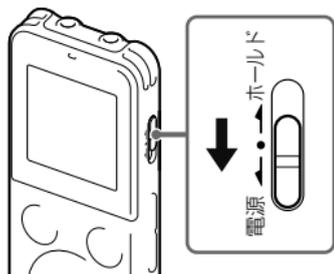
起動していないパソコンに接続しても充電できません。また、パソコンが起動していても、休止状態（スタンバイ、スリープ）のときは充電できません。

USB ACアダプターを使って充電する

付属のUSB AC アダプター（ICD-UX544Fのみ）または別売のUSB ACアダプター（AC-UD20など）を使って充電することもできます（99 ページ）。

電源を入れる

電源を入れる



画面が表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせると、電源が入ります。

電源を切る

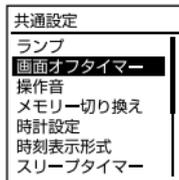
画面に「電源オフ」と表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせると、電源が切れます。

💡 ヒント

- 停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます。(お買い上げ時は、設定は10分になっています。)
- スリープタイマーが設定されているときは、設定時間になると自動的に電源が切れます。
- 最後に電源を切ってから4時間以内に再度電源を入れた場合は、すばやく起動します。

画面オフタイマー

使用時の電池消費を低く抑える画面オフタイマーをお使いになれます。

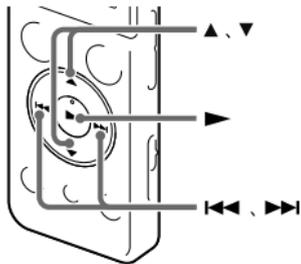


ICレコーダーでは、電池の消費を抑えるため、お買い上げ時に「画面オフタイマー」が「自動で画面を消す」に設定されています。操作をしないまま停止時は約30秒、録音、再生、FMラジオ受信時も約10秒経過すると、画面表示が消えます。画面表示が消えた状態でも、ボタン操作を行うことができます。画面を表示したいときは、戻る／ホームボタンを押します。

💡 ヒント

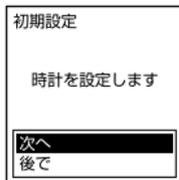
常に画面を表示させたいときは、ホームメニュー → 「 (各種設定)」 → 「共通設定」 → 「画面オフタイマー」で「画面を消さない」を選んでください。

初期設定をする



電池を充電後すぐに時計を合わせる

アラーム機能を使用したり、録音した日時を記録するためには、ICレコーダーの時計を合わせておく必要があります。お買い上げのあと、初めて電源を入れたときや時計が設定されていないときは、画面に「時計を設定します」と表示され、初期設定を行えます。



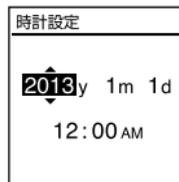
- 1 ▲ または ▼ を押して「次へ」を選び、▶ ボタンを押す。
時計設定画面が表示されます。

💡 ヒント

「後で」を選んだ場合は手順3に進んで、操作音のオン/オフを設定します。

- 2 年月日と時分を合わせる。

▲ または ▼ を押して、年の数字(西暦)を選び、▶ ボタンを押します。同じ手順で、月、日、時、分の順に設定します。
戻る/ホームボタンを押すと、カーソルが1つ前の項目に戻ります。

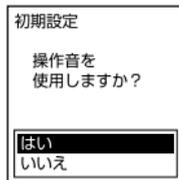


「分」の数字を選び、▶ ボタンを押すと、設定が時計に反映され、続いて「操作音を使用しますか?」と表示されます。

操作音を設定する

初めて電池を入れたときは、時計を合わせたあとに操作音の設定画面が表示され、操作確認音のオン／オフを設定できます。

- ▲ または ▼ を押して「はい」または「いいえ」を選び、▶ ボタンを押す。



設定が完了すると、ホームメニュー画面が表示されます。



💡 ヒント

- それぞれの手順の間を1分以上あけると、初期設定がキャンセルされ、ホームメニューが表示されます。
- 時計設定と操作音設定は、ホームメニューを使って後から設定、変更もできます。
- 現在時刻は、戻る／ホームボタンを長押ししてホームメニューの左下に表示されます。
- 操作音の初期設定は、初めて電源を入れたときのみ表示されます。

メニューを使って時計を合わせる

停止中にメニューを使って時計を合わせることができます。

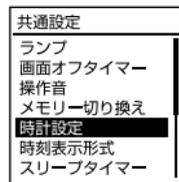
1 ホームメニューから「時計設定」を選ぶ。

- ① 戻る／ホームボタンを長押ししてホームメニューを表示する。
ホームメニュー画面が表示されます。

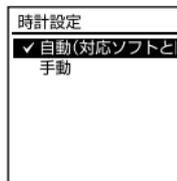


- ② ◀ または ▶▶ を押して「 (各種設定)」を選び、▶ ボタンを押す。
- ③ ▲ または ▼ を押して、「共通設定」を選び、▶ ボタンを押す。

- ④ ▲ または ▼ を押して「時計設定」を選び、▶ ボタンを押す。



- 2 ▲ または ▼ を押して「自動(対応ソフトと同期)」または「手動」を選び、▶ ボタンを押す。



「自動(対応ソフトと同期)」を選んだ場合：ICレコーダーをパソコンにつないでアプリケーションソフト Sound Organizer を起動すると、パソコンの時計に自動的に合わせます。

「手動」を選んだ場合は次の手順に進んでください。

- 3 ▲または▼を押して、「2013y1m1d」を選び、
▶ボタンを押す。



- 4 年月日と時分を合わせる。



▲または▼を押して、年の数字(西暦)を選び、▶ボタンを押します。同じ手順で、月、日、時、分の順に設定します。

戻る／ホームボタンを押すと、カーソルが1つ前の項目に戻ります。「分」の数字を選び、▶ボタンを押すと、設定が時計に反映されます。

- 5 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

■ 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

❗ ご注意

それぞれの手順の間を1分以上あけると、時計合わせがキャンセルされ、ホームメニューが表示されます。

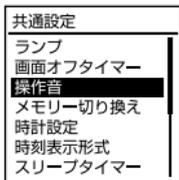
💡 ヒント

現在時刻は、戻る／ホームボタンを長押ししてホームメニューを表示させた際、画面の左下に表示されます。

メニューを使って操作音の設定をする

操作確認音のオン／オフを設定します。

- 1 ホームメニュー → 「 (各種設定)」 → 「共通設定」 → 「操作音」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ を押して「オン」または「オフ」を選び、▶ ボタンを押す。
- 3 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。
 - 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

❏ ご注意

「オフ」に設定していてもアラームは鳴ります。

ホームメニューで使いたい機能を選ぶ

ICレコーダーでは、各機能の入り口がホームメニューになります。

ここから各機能を選んだり、録音したファイルを探したり、設定を変更することができます。

- 1 戻る／ホームボタンを長押しする。
ホームメニュー画面が表示されます。



- 2 ◀◀ または ▶▶ を押して使いたい機能を選び、▶ ボタンを押す。
以下の機能を選択できます。

📻	ポッドキャスト	パソコンから転送したポッドキャストを選んで、再生できます。
🎵	ミュージック	パソコンから転送した音楽ファイルを選んで、再生できます。
📄	録音したファイル	ICレコーダーで録音したファイルを選んで、再生できます。
🎤	録音	録音画面を表示します。録音を開始するには、●録音／一時停止ボタンを押します。
📻	FMラジオ	FMラジオ画面を表示して、FMラジオを聞いたり、録音したりできます。
🛠️	各種設定	各種設定メニューを表示して、ICレコーダーのさまざまな設定ができます。
🏠	XX画面へ*	ホームメニューに入る前に表示していた画面に戻ります。 * XXには、現在使用している機能が表示されます。

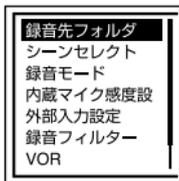
💡 ヒント

ホームメニュー画面や各種設定画面で■ 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

オプションメニューで設定する

オプションボタンを押すと、ICレコーダーの各機能に応じたオプションメニューが表示され、設定の変更などができます。

- 1 ホームメニューで機能を選んだあと、オプションボタンを押す。
使用している機能のオプションメニューが表示されます。



- 2 ▲ または ▼ を押して設定したい項目を選び、▶ ボタンを押す。
- 3 ▲ または ▼ を押して設定内容を選び、▶ ボタンを押す。

■ ご注意

操作しない状態が1分以上続くと、自動で元の画面に戻ります。

💡 ヒント

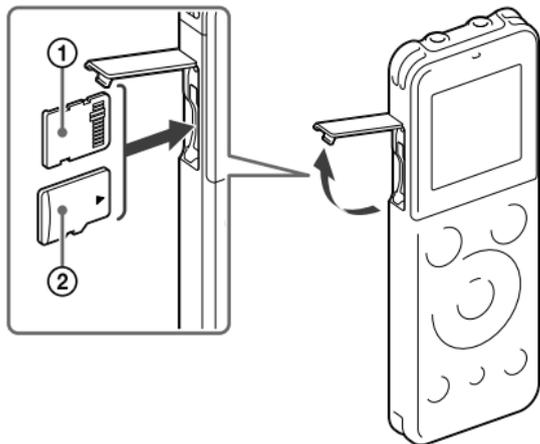
- ■ 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。
- 1つ前の画面に戻るには、メニュー操作中に戻る／ホームボタンを押します。

メモリーカードを入れる

ICレコーダーでは、内蔵メモリーのほかに、別売のメモリーカードに音声を記録できます。

- 1 停止中にスロット蓋を開けて、M2™またはmicroSDカードを、メモリーカードスロットに、カチッと音がするまでしっかり差し込む。

- ①：M2™の端子面を手前に
- ②：microSDのカードラベル面を手前に



- 2 スロット蓋を閉める。
「メモリーカードに切り換えますか?」と表示されます。

■ ご注意

電源が入っていないときに操作をした場合は、メッセージが表示されません。電源を入れてから、ホームメニュー → 「 (各種設定)」 → 「共通設定」 → 「メモリー切り換え」を選んで、使用するメモリーを選んでください(25 ページ)。

- 3 ▲または▼を押して、「はい」または「いいえ」を選び、▶ ボタンを押す。

■ ご注意

- メモリーカードが認識されない場合はメモリーカードを取り出し、再度入れ直してください。
- メモリーカードスロットの挿入口には、液体・金属・燃えやすいものなど、メモリーカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 録音する前に、メモリーカードに保存されているデータをパソコンに保存し、ICレコーダーで初期化して空の状態にしてからお使いください(92 ページ)。

ICレコーダーで使用できるメモリーカード

このICレコーダーでは、以下のメモリーカードをお使いになれます。

メモリーカード	対応
microSDカード(~ 2 GB)	○
microSDHCカード(4 GB ~ 32 GB)	○
microSDXCカード(64 GB以上)	×
M2™カード(~ 16 GB)	○

最新の動作確認済みメモリーカードについては、ICレコーダー サポート・お問い合わせページ

<http://www.sony.jp/support/ic-recorder/>
をご覧ください。

メモリーカードに記録・再生できるファイルのサイズはICレコーダーの仕様上、1ファイルにつきLPCMは2 GB未満、MP3/WMA/AAC-LCは1 GB未満です。

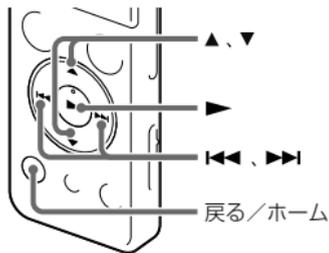
■ ご注意

対応仕様のメモリーカードでも、すべてのメモリーカードでの動作を保証するものではありません。

メモリーカードを取り出すには

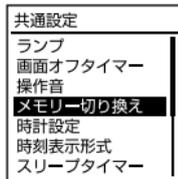
メモリーカードを一度奥に押します。手前に出てきたら、メモリーカードスロットから取り出します。

メモリーを切り換える



録音したファイルを保存する、または再生、編集、コピーするファイルが保存されているメモリーを、内蔵メモリーとメモリーカードから選びます。メモリーを、内蔵メモリーとメモリーカード間で切り換えることができます。

- 1 ホームメニュー → 「 (各種設定)」 → 「共通設定」 → 「メモリー切り換え」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ を押して、「内蔵メモリー」または「メモリーカード」を選び、▶ ボタンを押す。
- 3 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。
■ 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

❗ ご注意

メモリーカードを取り出すと、自動的に内蔵メモリーが選択されます。

💡 ヒント

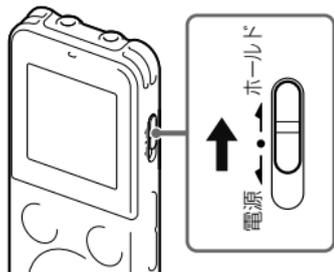
メモリーカードを初期化していない場合は、「メモリー切り換え」でメモリーを切り換えたあとで、ホームメニュー → 「 (各種設定)」 → 「共通設定」 → 「メモリー初期化」を選びます。

誤操作を防止する(ホールド)

ICレコーダーを持ち運ぶ際など、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぐために、すべてのボタン操作を無効にできます(ホールド)。

ボタン操作をできなくするには

電源が入っているときにボタン操作をできなくするには、ホールド・電源スイッチを「ホールド」の方向にスライドします。

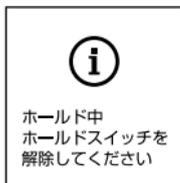


「ホールド」と約3秒間表示され、すべてのボタン操作が無効になります。

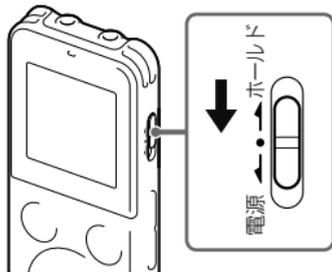


ボタン操作をできるようにするには

ホールドになっているときにボタン操作をすると、「ホールド中 ホールドスイッチを解除してください」と表示されます。



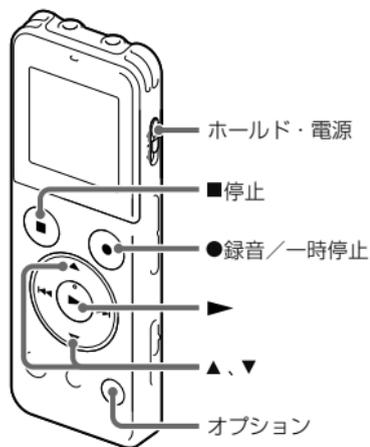
ホールドを解除するには、ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドします。



🔊 ホールド中でもアラーム再生は止められません

アラーム再生時、どのボタンを押してもアラーム音やファイル再生を止めることができます。(通常のファイル再生は停止できません。)

録音を始める



ここでは、基本的な録音操作の手順について説明します。
設定したマイク感度と録音モードで録音を行います。

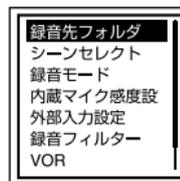
🔔 ヒント

録音をする前に、あらかじめためし録りするか、録音モニター (30 ページ) をしながら録音することをおすすめします。

- 1 ホームメニュー → 「🎤(録音)」を選び、▶️を押して決定する。
録音停止画面が表示されます。



- 2 録音したいフォルダを選ぶ(40 ページ)。
 - ① オプションメニュー → 「録音先フォルダ」を選び、▶️ボタンを押して決定する。



- ② ▲または ▼ を押してフォルダを選び、▶ ボタンを押す。



お買い上げ時には、「FOLDER01」が選択されています。

- 3 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。



- 4 停止中に ● 録音／一時停止ボタンを押す。
録／再ランプが赤く点灯します。
● 録音／一時停止ボタンは、録音中ずっと押し続ける必要はありません。

新しいファイルは自動的にフォルダの最終ファイルとして録音されます。

■ ご注意

録音中、ICレコーダーに手などがあたったり、こすったりすると雑音が入ってしまうことがあります。

💡 ヒント

- 再生中やメニューを表示中でも、● 録音／一時停止ボタンを押すと録音を開始できます。
- 録音中は、メニューを表示していても、● 録音／一時停止ボタンを押して録音を一時停止できます。

録音を止める

- 1 ■ 停止ボタンを押す。

「しばらくお待ちください」と表示され、録音停止画面に戻ります。

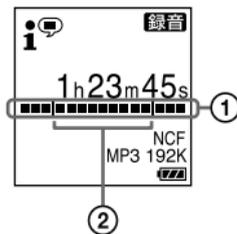
録音停止後に ▶ ボタンを押すと、今録音したファイルを再生できます。

アクセス中のご注意

画面上に「しばらくお待ちください」と表示されている間は、メモリーへ録音データを記録しています。アクセス中は、USB ACアダプターを抜き差ししないでください。データが破損するおそれがあります。

録音レベルガイドについて

録音中は、録音レベルガイド(①)が表示されます。



録音中の入力レベルが表示されます。縦線で囲まれた区間(②)は、入力レベルの適正範囲を表示します。

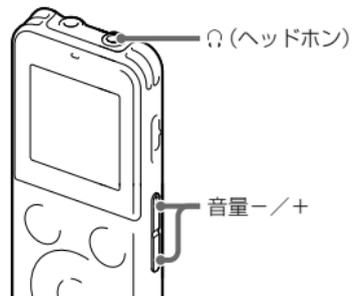


上の図のように、録音中の入力レベルが、縦線で囲まれた区間に収まるように、マイクの方向や音源からの距離を調節したり、マイク感度、シーンセレクトの設定を変更してください。

💡 ヒント

入力レベルの縦線で囲まれた区間に表示される部分が少ない場合は、音源の近くに移動したり、マイク感度を高く設定することをおすすめします。

録音中の音をモニターする



付属のステレオヘッドホンを Ω (ヘッドホン) ジャックにつなぐと、録音中の音をモニターできます。ヘッドホンからの音量(モニター音量)は、音量-/+ ボタンを押して調節します。録音される音量に影響はありません。

その他の操作

録音を一時停止する*	● 録音／一時停止ボタンを押す。 録音一時停止中は録／再ランプが赤く点滅し、 ● (録音一時停止)表示が点滅します。
録音一時停止を解除する	もう一度 ● 録音／一時停止ボタンを押す。 先ほど録音していたファイルに続けて録音できます。(録音一時停止後、録音を続けず、停止するときは、■ 停止ボタンを押します。)
今録音したばかりのファイルを聞く	▶ ボタンを押す。 録音が解除され、今録音したファイルのはじめから聞くことができます。
早戻し(レビュー)再生する	録音中または録音一時停止中に◀◀ を長押しする。 録音が解除され、今録音したところが早戻し(レビュー)再生されます。◀◀ を離すと、離れたところから再生が始まります。

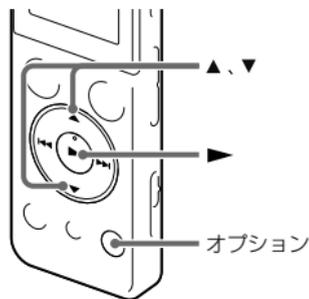
* 録音を一時停止して約1時間たつと、録音一時停止は解除され、録音停止になります。

💡 ヒント

Sound Organizerを使うと、新しいフォルダを作ったり、フォルダを消去できます(「Sound Organizerを使う」(別冊))。

録音の設定を変える

用途に合わせた録音シーンを選ぶ



さまざまな録音シーンに合わせて、録音モード(35 ページ)やマイク感度(35 ページ)などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます(シーンセレクト機能)。「Myシーン1」、「Myシーン2」にはお好みの設定を保存できます。

- 1 録音停止中にオプションメニュー→「シーンセレクト」を選び、▶ボタンを押して決定する。
- 2 ▲または▼を押して、お好みのシーンを選び、▶ボタンを押す。



オフ	シーンセレクト機能をオフにします。
 (おまかせボイス)*	音声全般を録音するときに適しています。
 (会議)	広い会議室での録音など、幅広い用途に適しています。
 (講演)	講演会や講義を録音するときに適しています。
 (ボイスメモ)	マイクを口元に近づけて録音するときに適しています。
 (インタビュー)	インタビューや少人数での会議、打ち合わせなど、1～2mくらいの距離で人の声を録音するときに適しています。
 (歌・音楽)	合唱の練習やアコースティックギター、ピアノ、バイオリンなどの楽器の音を2～3mくらいの距離で録音するときに適しています。
 (Myシーン1)	録音モード、内蔵マイク感度などをお好みに合わせて編集できます。
 (Myシーン2)	録音モード、内蔵マイク感度などをお好みに合わせて編集できます。

* お買い上げ時の設定

各シーンのお買い上げ時の録音設定についてそれぞれのメニュー、設定項目について詳しくは35～36ページをご覧ください。

	 (おまかせボイス)	 (会議)	 (講演)	 (ボイスメモ)
録音モード	MP3 192kbps	MP3 192kbps	MP3 192kbps	MP3 128kbps
内蔵マイク感度設定	音声用  A オート	音声用  中	音声用  中	音声用  低
VOR	オフ	オフ	オフ	オフ
録音フィルター	NCF (Noise Cut)	NCF (Noise Cut)	NCF (Noise Cut)	LCF (Low Cut)
	 (インタビュー)	 (歌・音楽)	 (Myシーン1)*	 (Myシーン2)*
録音モード	MP3 128kbps	MP3 192kbps	MP3 192kbps	MP3 192kbps
内蔵マイク感度設定	音声用  中	音楽用  低(音楽)	音声用  中	音声用  中
VOR	オフ	オフ	オフ	オフ
録音フィルター	NCF (Noise Cut)	オフ	オフ	オフ

* お買い上げ時の設定

MYシーンの設定項目をお好みに編集する

「Myシーン1」または「Myシーン2」にはお好みの設定を保存できます。

録音停止中に以下の手順を行います。

- 1 録音に関するメニューをお好みに設定する。
オプションメニューから設定したい項目を選びます。
設定できるのは以下のメニューです。
録音モード／内蔵マイク感度設定／録音フィルター／VOR
- 2 オプションメニュー→「シーンセレクト」→「Myシーン1」または「Myシーン2」を選ぶ。
- 3 ▲または▼を押して、「登録」を選び、▶ボタンを押す。
「現在の録音設定を登録しますか？」と表示されます。
- 4 ▲または▼を押して、「はい」を選び、▶ボタンを押す。
現在の録音設定が登録されます。

💡 ヒント

「Myシーン1」または「Myシーン2」の設定値は、各種設定メニューの「設定初期化」を実行するとお買い上げ時の設定に戻ります。

個別の録音設定項目を変更する

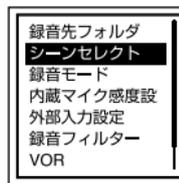
録音するファイルの録音モード(音質など)、内蔵マイク感度、録音フィルターを設定できます。

録音を始める前に設定します。

❗ ご注意

「シーンセレクト」が「オフ」以外に設定されているときに設定すると、シーンセレクトの設定は解除されます。

- 1 録音停止中にオプションボタンを押して、オプションメニューを表示する。



- 2 ▲または▼を押して、変更したい項目を選び、▶ボタンを押す。
設定を変更します。

録音モード

音質などを設定します。

LPCM 44.1kHz/16bit 非圧縮ステレオ高音質録音

MP3 192kbps* ステレオ標準録音

MP3 128kbps ステレオ長時間録音

MP3 48kbps(MONO) モノラル標準録音

MP3 8kbps(MONO) モノラル長時間録音

* お買い上げ時の設定

内蔵マイク感度設定

内蔵マイクのマイク感度を設定します。

音声用

 **A** オート* 録音レベルが適切になるように、マイク感度は自動的に設定されます。

 **||** 高 広い会議室での録音など、遠くの音や小さい音を録音するときに使用します。

 **||** 中 会議室での録音やインタビューなど、通常の会話や打ち合わせの音声を録音するときに使用します。

 **|** 低 口述録音など、マイクを口元に近づけて録音したり、近くの音や大きい音を録音するときに使用します。

音楽用

 **||** 高(音楽) 広い会場などでの音楽を録音するときに使用します。

 **|** 低(音楽) ピアノのレッスンなど、近くで演奏している音楽を録音するときに使用します。

* お買い上げ時の設定

録音フィルター

録音フィルター機能を設定すると、ノイズを軽減した録音ができます。

オフ 録音フィルターを解除します。

NCF(Noise Cut)* **NCF** 音声以外の周波数の音をカットし、軽減できます。

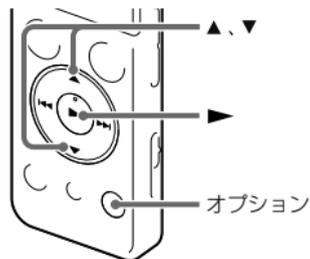
LCF(Low Cut) **LCF** 低い周波数の音をカットし、プロジェクターなどのノイズや風切り音を軽減できます。

* お買い上げ時の設定

■で注意

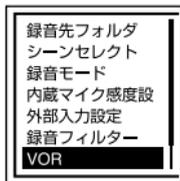
- 「シーンセレクト」が「オフ」以外に設定されているときに設定すると、シーンセレクトの設定は解除されます。
- FMラジオ放送はLPCMで録音できません。
- 「外部入力設定」が「Audio IN」に設定されているときや、FMラジオ録音中(76 ページ)は、内蔵マイク感度設定と録音フィルター機能が無効になります。

音がしたとき自動録音する — VOR (Voice Operated Recording)録音



ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が一時停止するように、メニューで設定できます。

- 1 録音停止中または録音／一時停止中にオプションメニュー → 「VOR」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼を押して、「オン」を選び、▶ ボタンを押す。

お買い上げ時は、「オフ」設定になっています。

- 3 ● 録音／一時停止ボタンを押す。

VOR/録音 が表示されます。

マイクで拾う音が一定レベル以下まで小さくなると、VOR/●II (録音一時停止)が点滅して、VOR録音が一時停止状態になります。

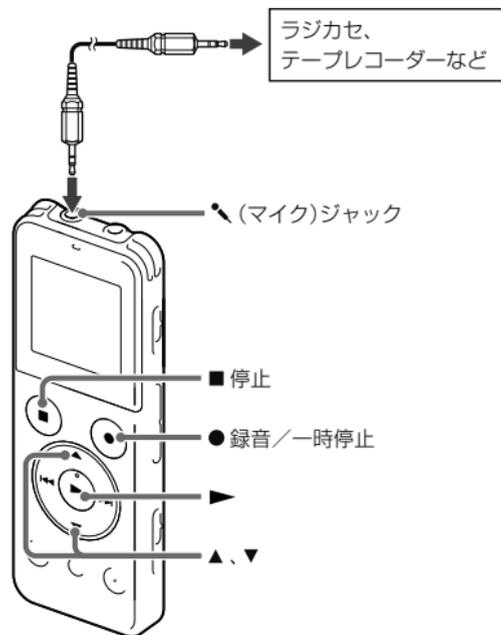
VOR録音一時停止状態のときに、マイクが一定レベル以上の大きさの音を拾うと、VOR録音が再開されます。

VOR録音を解除するには

手順2で「VOR」を「オフ」にします。

接続して録音する

他の機器の音声を録音する



ラジカセ、テープレコーダーなど、他の機器の音声／音楽をICレコーダーに録音することによって、パソコンを使わなくても、音楽ファイルを作成できます。

ヒント

入力レベルが適正ではない場合は、他の機器のヘッドホン端子(ステレオミニジャック)を使ってICレコーダーと接続し、ICレコーダーの録音レベルガイドを確認しながら、他の機器の音量を調節してください。

シンクロ録音機能を使って録音する

2秒以上無音の部分が続いた場合、録音は一時停止状態になり、次に音を検知したところから新しいファイルとして録音します。

- 1 停止中に他の機器をICレコーダーの (マイク)ジャックにつなぐ。

他の機器の音声出力端子(ステレオミニジャック)をオーディオコード(ICD-UX544Fのみ付属)または別売のソニー製オーディオコード(56ページ)を使って、ICレコーダーの (マイク)ジャックにつなぎます。

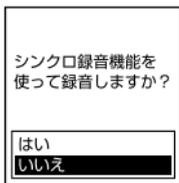
画面に「外部入力設定」が表示されます。

「外部入力設定」が表示されない場合には録音停止画面でオプションメニュー → 「外部入力設定」を選んで設定してください。

MIC IN*	マイクジャックに外部マイクをつないだときに選びます。
Audio IN	マイクジャックにオーディオコードなど、外部マイク以外のものをつないだときに選びます。

* お買い上げ時の設定

- 2 ▲または▼を押して、「Audio IN」を選び、▶ボタンを押す。
「シンクロ録音機能を使って録音しますか?」と表示されます。



- 3 ▲または▼を押して、「はい」を選び、▶ボタンを押す。

シンクロ録音が設定されます。

- 4 ● 録音/一時停止ボタンを押す。
SYNC/●II が点滅してシンクロ録音が一時的に停止状態になります。

- 5 つないだ機器で再生を始める。
SYNC/録音 が表示され、シンクロ録音が始まります。

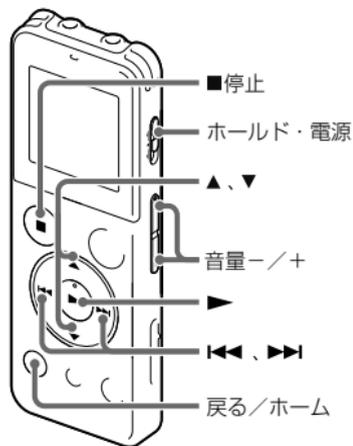
2秒以上無音の部分が続くと、SYNC/●II が点滅して、シンクロ録音が一時的に停止状態になります。シンクロ録音一時停止状態のときに、次に音を検知したところから新しいファイルとして、シンクロ録音が再開されます。

シンクロ録音機能を使わずに録音するには
「シンクロ録音機能を使って録音する」の手順3で「いいえ」を選び、手順4、5に従ってつないだ機器から録音を行います。
手順4で、● 録音/一時停止ボタンを押すと、内蔵マイクは自動的に切れ、つないだ機器の音声が録音されます。

💡 ヒント

録音を止めるには、■ 停止ボタンを押してください。

ファイルを選んで再生する



ホームメニューから再生、編集するファイルを選べます。

1 エリアを選ぶ。

ホームメニューで「☉(ポッドキャスト)」、
「♪(ミュージック)」、「📁(録音したファイル)」のい
ずれかを選び、▶ボタンを押します。

2 フォルダを選ぶ。

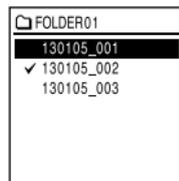
▲または▼を押してフォルダを選び、▶ボタンを
押します。



お買い上げ時、「📁(録音したファイル)」には
FOLDER01 ~ 05、FMラジオの6個のフォルダが作
成されています。

3 ファイルを選ぶ。

ファイル選択画面が表示されているときは、▲また
は▼を押して、ファイルを選びます。



4 ▶ ボタンを押す。

再生が始まり、録／再ランプが緑に点灯します。

5 音量－／＋ボタンを押して、音量を調節する。

💡 ヒント

再生停止画面が表示されているときは、◀◀ または ▶▶ を押してファイルを切り換えできます。

録音した直後に再生する

録音を停止したあとに、録音停止画面で▶ボタンを押すと、直前に録音したファイルを再生できます。

再生を止める

■ 停止ボタンを押す。

その他の操作

再生の途中、その位置で停止する ▶▶ ボタンを押す。
もう一度 ▶▶ ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。

今聞いているファイルの頭に戻る ◀◀ を短く1回押す。*1*2

前のファイル、さらに前のファイルに戻る ◀◀ を短く何回か押す。
(停止中は押したままにすると、連続して戻ります。*3)

次のファイルに進む ▶▶ を短く1回押す。*1*2

さらに次のファイルに進む ▶▶ を短く何回か押す。
(停止中は押したままにすると、連続して進みます。*3)

*1 トラックマークが設定されている場合は、前後のトラックマークの位置まで戻り、または進みます(62 ページ)。

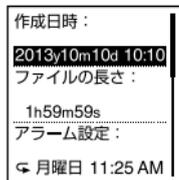
*2 メニュー「イージーサーチ」が「オフ」に設定されている場合の操作です(51 ページ)。

*3 トラックマークには止まりません。

ファイル情報を表示する

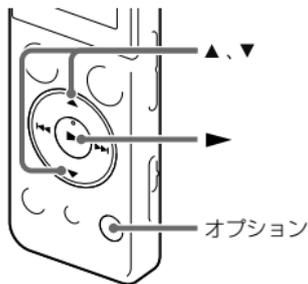
ICレコーダーで録音したファイルを選択中は、停止中にオプションメニューで「ファイル情報」を選ぶと、現在選択されているファイルの情報を表示します。

▲ または ▼ を押して、情報を切り換えます。



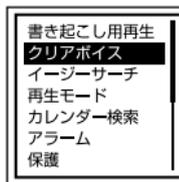
再生の設定を変える

再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする — クリアボイス機能



録音したファイルの再生時にクリアボイス機能を有効に設定すると、音声以外の周辺ノイズをカットします。音声帯域を含むすべての周波数帯域のノイズを低減するため、クリアな音質で再生できます。

- 1 再生停止中／再生中に、オプションメニュー→「クリアボイス」を選び、►ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼を押して、「クリアボイス1」または「クリアボイス2」を選び、►ボタンを押す。クリアボイスを設定すると、画面には Voice1／Voice2 が表示されます。

クリアボイスを解除するには

手順2で「オフ」を選択します。

メニュー項目	詳細
オフ*	クリアボイス機能を解除します。
クリアボイス1	音声以外のノイズを低減し、声の大きさを自動調整して聞きやすいクリアな音になります。
クリアボイス2	「クリアボイス1」よりもさらに強いノイズ低減、音声の自動調整効果により、クリアな音質になります。

* お買い上げ時の設定

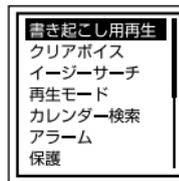
■ ご注意

- 内蔵スピーカーで再生しているとき、FMラジオ録音中は、クリアボイス機能は無効になります。
- 音楽ファイル、ポッドキャストの再生時は、クリアボイス機能は無効となります。

録音を書き起こす(書き起こし用再生)

録音した1つのファイルを早送り/早戻ししながら聞きたい箇所を探したり、デジタルピッチコントロール(DPC)で速度調節しながら再生できます。議事録等を書き起こすときに便利なモードです。

- 再生停止中に、オプションメニュー → 「書き起こし用再生」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



2 ▶ ボタンを押して再生を開始する。

書き起こし用再生中は次の機能を使用して、再生音を調節できます。



- DPC：再生速度を変更して聞き取りやすくなります。▲DPCボタン(速度調節)を押すと、DPC設定画面が表示されます。▲ または ▼ を押して「オン」を選び、◀◀/▶▶を押して速度を調節し、▶ ボタンを押して決定します。
- イージーサーチ：◀◀/▶▶を押して聞きたいところをすばやく探すことができます。
- キュー・レビュー：◀◀/▶▶を押したままにして早戻し/早送りし、聞きたいところを探すことができます。

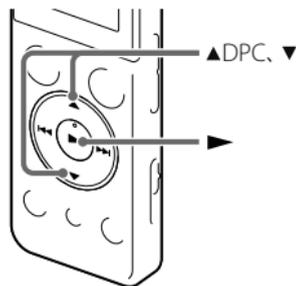
■ ご注意

- スリープタイマーの設定時間が経過すると、書き起こし用再生中でも電源が切れスリープモードに入ります。
- 書き起こし用再生中は次の機能が働きません。
 - 再生モード
 - 分割
 - A-B リピート

💡 ヒント

- 再生を止めるには、■ 停止ボタンを押してください。
- 書き起こし用再生モードを終了するには、再生停止中にオプションメニュー → 「書き起こし終了」を選びます。
- 違うファイルを聞きたいときは、戻る／ホームボタンを押してファイルリストを表示させて、聞きたいファイルを選んでください。
- 書き起こし用再生中も間隔を設定できます。

再生速度を調節する — DPC (Digital Pitch Control)



再生速度を0.50倍速から2.00倍速の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生します。

再生中に加え、書き起こし用再生中も再生速度を変えることができます。

- 1 再生停止中／再生中に▲DPC（速度調節）ボタンを押す。

DPC設定画面が表示されます。



- 2 ▲ または ▼ を押して「オン」を選ぶ。
- 3 ◀◀ または ▶▶ を押して、再生速度を調節する。
0.05倍速刻みで遅くする(x0.50 ~ x1.00)
0.10倍速刻みで速くする(x1.00 ~ x2.00)
ボタンを長押しすると連続して設定できます。
お買い上げ時は、「x0.70」になっています。
- 4 ▶ を押して、再生速度を決定する。

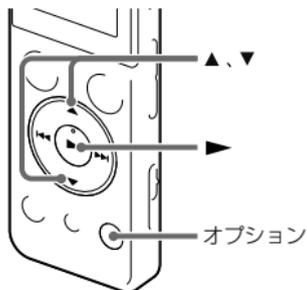
通常の再生速度に戻すには

DPC設定画面で「オフ」を選びます。

❏ ご注意

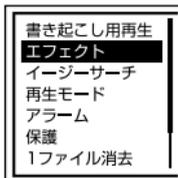
LPCM形式のファイルは、x1.00倍速を超える速さで再生できません。

音質を切り換える(エフェクト)



音楽ファイルやポッドキャストを再生するときに、再生する音楽に合わせた効果を設定します。

- 1 音楽ファイルまたはポッドキャストの再生停止中または再生中に、オプションメニュー → 「エフェクト」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



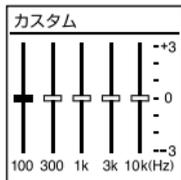
- 2 ▲または▼を押して、お好みの音質を選び、▶ ボタンを押す。

オフ*	エフェクト機能を無効にします。
ポップス HHP	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。
ロック HHR	低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。
ジャズ HJJ	高域を強調した張りのある音質になります。
ベース1 HBA1	低音が強調されます。
ベース2 HBA2	低音が更に強調されます。
カスタム HHC	5バンドのサウンドレベルを自由に設定できません。

* お買い上げ時の設定

自分好みの音質に設定するには

- 手順2で「カスタム」を選び、▶ボタンを押す。
カスタム設定画面が表示されます。
- 100Hz、300Hz、1kHz、3kHzまたは10kHzの周波数帯のレベルを調節する場合は、◀◀ または ▶▶ を押してそれぞれの周波数帯へ移動し、▲ または ▼ を押してレベルを調節する。
-3 ~ +3の7段階に設定できます。

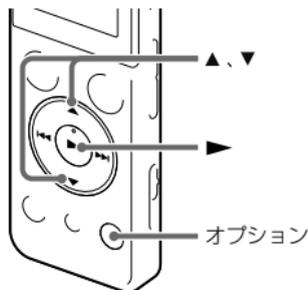


- ▶ボタンを押す。

❏ ご注意

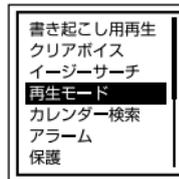
- エフェクト機能は音楽ファイル、ポッドキャストの再生時のみ有効です。録音したファイルの再生時は、エフェクト機能は無効になります。
- 次の場合は、エフェクト機能は動きません。
 - 内蔵スピーカーで再生中
 - FMラジオ受信中

再生モードを変える



メニューで用途に応じた再生モードを選ぶことができます。

- 再生停止中または再生中に、オプションメニュー → 「再生モード」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼を押して、「1」、「」、「ALL」、「1」、「 」または「 ALL」を選び、▶ボタンを押す。

1	1ファイルを再生する。
 *	フォルダ内のファイルを連続再生する。
ALL	全ファイルを連続再生する。
 1	1ファイルをリピート再生する。
 	フォルダ内のファイルをリピート再生する。
 ALL	全ファイルをリピート再生する。

* お買い上げ時の設定

💡ヒント

再生中に▶ボタンを1秒以上押すと、メニューで設定しなくても、1ファイルをリピート再生できます。

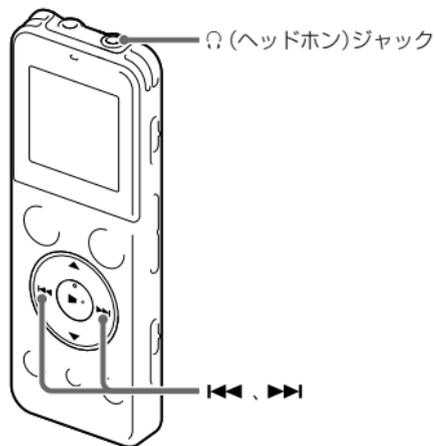
必要な部分だけを再生する — A-Bリピート

- 1 再生中に▼ A-Bボタンを押して、A点を指定する。「A-B B?」が表示されます。
- 2 もう一度▼ A-Bボタンを押して、B点を指定する。「 A-B」が表示されて、指定した区間が繰り返し再生されます。

💡ヒント

- A-Bリピート再生を止めて通常の再生に戻すには、▼ A-Bボタンをもう一度押します。
- A-Bリピートの範囲を変えるには、A-Bリピート再生中にもう一度▼ A-Bボタンを押して通常の再生に戻ります。もう一度手順1と2を行ってください。

より便利な再生方法



別売のアクティブスピーカーをφ (ヘッドホン) ジャックにつないでください。

再生中に早送り／早戻しする — キュー／レビュー

- 早送り(キュー)：
再生中に ▶▶ を押したままにして、聞きたいところで離します。
- 早戻し(レビュー)：
再生中に ◀◀ を押したままにして、聞きたいところで離します。

最初は少しずつ早送り／早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。押し続けると、高速での早送り／早戻しになります。

🔔 最後のファイルの終わりまで再生または早送り(キュー)すると

- 最後のファイルの終わりまで来ると、「FILE END」表示が約5秒間点灯します。
- 「FILE END」と録／再ランブが消えると、最後のファイルの頭に戻って止まります。
- 「FILE END」の点灯中に ◀◀ を押したままにすると、早戻しされ、離れたところから再生が始まります。

高音質で再生する

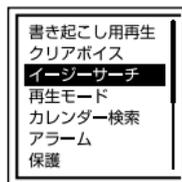
- ヘッドホンで聞く：
付属のステレオヘッドホンをつないでください。スピーカーからは音が出なくなります。
- 外部スピーカーで聞く：

聞きたいところをすばやく探す — イージーサーチ機能

イージーサーチ機能を使うと再生を開始したい場所をすばやく見つけることができます。

また、早送り／早戻しの間隔を設定することで、会議録音など長時間録音したものでも、聞きたいところをすばやく探すことができます。

- 1 再生停止中に、オプションメニュー → 「イージーサーチ」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼を押して「間隔設定」を選び、▶ ボタンを押す。

- 3 ▲または▼を押して、「イージーサーチ送り」または「イージーサーチ戻し」を選び、▶ ボタンを押す。

- 4 ▲または▼を押して、早送り、早戻しの間隔を設定し、▶ ボタンを押す。

💡 ヒント

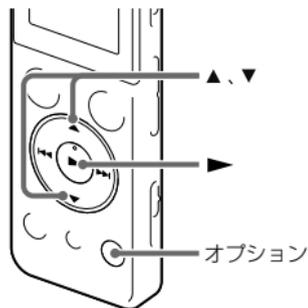
早戻し、早送り、両方の間隔を設定するには、手順2～4を繰り返します。

- 5 ▲または▼を押して「オン」を選び、▶ ボタンを押す。

オン	再生中、▶▶ を押すと、設定した間隔進み、◀◀ を押すと、設定した間隔戻ります。会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。
オフ*	イージーサーチ機能を無効にします。▶▶ または◀◀ を押すと、ファイルを早送り／早戻しします。
間隔設定	イージーサーチ送り、戻しの間隔を設定します。 <ul style="list-style-type: none">イージーサーチ送り：▶▶ を押したときに進む間隔を、5秒、10秒*、30秒、1分、5分、10分から選びます。イージーサーチ戻し：◀◀ を押したときに戻る間隔を、1秒、3秒*、5秒、10秒、30秒、1分、5分、10分から選びます。

* お買い上げ時の設定

カレンダーから録音した日付を選んで再生する

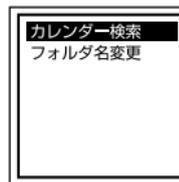


ICレコーダーで録音したファイルを、カレンダーから検索して再生できます。

- 1 ホームメニュー → 「 (録音したファイル)」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 オプションメニュー → 「カレンダー検索」を選び、▶ボタンを押す。
カレンダーが表示され、現在の日付が選択されます。

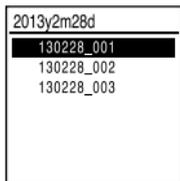


- 3 または を押して、日付を選び、▶ボタンを押す。
ファイルが存在する日付には下線が表示されます。

2							2013	
S	M	T	W	T	F	S		
					<u>1</u>	2		
3	4	5	6	7	8	9		
10	11	12	13	14	15	16		
17	18	19	20	21	22	23		
24	25	26	27	<u>28</u>				

▲ または ▼ を押すと、前後の週へ移動します。それぞれのボタンを長押しすると、連続して移動します。

- 4 ▲または▼を押してファイルを選び、▶ボタンを押す。



確認画面が表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。

- 5 ▲または▼を押して、「決定」を選び、▶ボタンを押す。

ファイルが再生されます。

「戻る」を選ぶと前の画面に戻ります。

- 6 再生を止めるには、■ 停止ボタンを押す。

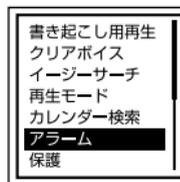
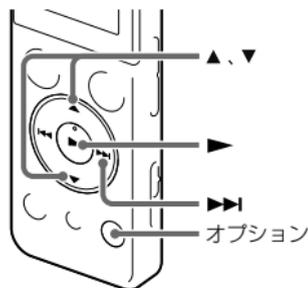
■ ご注意

- カレンダーから検索してファイルを再生するには、あらかじめレコーダーの時計を合わせる必要があります（15 ページ）。
- ファイルの存在しない日付を選択して決定した場合は、

「ファイルがありません」が表示されます。ファイルが存在する日付を選択してください。

- カレンダーから検索して再生できるのは、「 (録音したファイル)」エリア内のファイルのみです。

希望の時刻に再生を始める — アラーム再生



あらかじめ設定した時刻にアラーム音とともにファイルを再生できます。
特定の日付を指定したり、毎週同じ曜日や毎日同じ時刻に再生するように設定できます。
1ファイルに1件のアラームが設定できます。

1 アラーム再生したいファイルを表示させる。

2 アラーム設定をする。

- ① 再生停止中に、オプションメニュー → 「アラーム」を選び、▶ ボタンを押して決定する。

- ② ▲ または ▼ を押して、「オン」を選び、▶ ボタンを押す。

3 アラーム再生したい日時、時刻を設定する。

- ① ▲ または ▼ を押して、「日時」、「月曜日」や「火曜日」など設定したい曜日、または「毎日」を選び、▶ ボタンを押す。

- ② 次のいずれかの操作を行う。

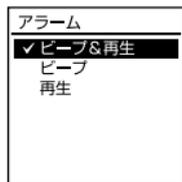
「日時」を選んだ場合：

「メニューを使って時計を合わせる」(17 ページ)に従って年月日、時刻を設定します。

曜日や「毎日」を選んだ場合：

▲ または ▼ を押して「時」を選び、▶▶ ボタンを押し、同じように ▲ または ▼ を押して「分」を選び、▶▶ ボタンを押します。

- 4 ▲または▼を押してお好みのアラームパターンを選び、▶ボタンを押す。



「設定しました」の表示が出ます。

メニューを終了すると「」が表示されて、選んだファイルにアラームが設定されます。

設定内容を変更するには

アラーム再生したいファイルを表示し、2～4の手順を繰り返します。

設定内容を解除するには

手順2「アラーム設定をする」の手順②で「オフ」を選び、▶ボタンを押して決定します。アラームが解除されません。表示窓のアラーム表示が消えます。

設定した時刻になると

自動的に電源が入り、「ALARM」が表示されて、アラーム再生が始まります。

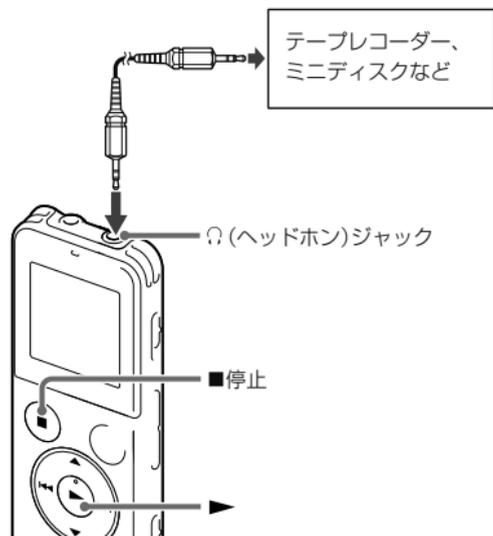
再生が終わると、自動的に停止します(アラームパターンで「ビープ&再生」または「再生」が設定されている場合は、アラーム再生したファイルの頭に戻ります)。

アラーム再生を止めるには

アラーム再生中に音量-/+以外のボタンを押します。ホールド中は、どのボタンを押しても止められません。

接続して再生する

ICレコーダーの音声を他の機器で録音する



ICレコーダーにつないだ他の機器でICレコーダーの音声を録音できます。

録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから、録音することをおすすめします。

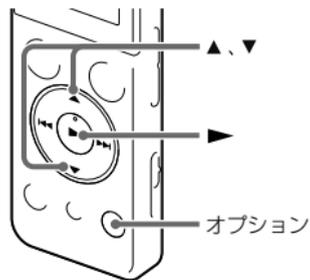
- 1 ICレコーダーの Ω (ヘッドホン)ジャックと他の機器の外部入力端子を、オーディオコード (ICD-UX544Fのみ付属)または別売のソニー製オーディオコード*を使ってつなく。
- 2 ICレコーダーの ▶ ボタンを押して再生状態にし、同時に、つないだ機器の録音ボタンを押して、録音状態にする。
ICレコーダーのファイルが他の機器に録音されます。
- 3 録音を止めるには、ICレコーダーの ■ 停止ボタンを押し、つないだ機器の停止ボタンを押す。

*お使いになれるオーディオコード(別売)

ラインインを使って接続するときは、次の抵抗なしオーディオコードをお使いください。

	ICレコーダー側	接続先機器側
RK-G139	ステレオミニプラグ (抵抗なし)	ミニプラグ(モノラル) (抵抗なし)
RK-G136	ステレオミニプラグ (抵抗なし)	ステレオミニプラグ (抵抗なし)

ファイルを消去する



■ ご注意

- 一度消去したファイルはもとに戻すことはできません。
- 保護設定されているファイルは、消去できません。保護設定を解除してから操作してください。

- 録音停止中または再生停止中／再生中に消去したいファイルを選ぶ(40 ページ)。
- オプションメニュー → 「1ファイル消去」を選び、▶ ボタンを押す。

「消去しますか?」と表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。

- ▲ または ▼ を押して、「はい」を選ぶ。

- ▶ ボタンを押す。

「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、ファイルが消去されます。

ファイルを消すと、次のファイルが自動的に繰り上がるので、間に空白部分は残りません。

途中で消去をやめるには

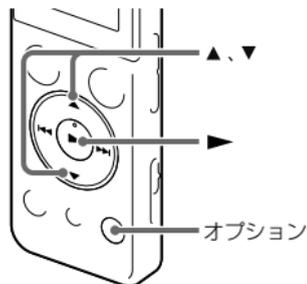
手順3で「いいえ」を選び、▶ ボタンを押します。

また、ファイル一覧で消去したいファイルにカーソルを移動し、オプションメニュー → 「1ファイル消去」を選んで消去することもできます。

ひとつのファイルの一部分だけ消去するには

ファイル分割(65 ページ)で消去する部分としない部分に分け、消去したい部分のファイル番号を選んで「ファイルを消去する」の手順2から手順4の操作をします。

フォルダの中身を一度に消去する



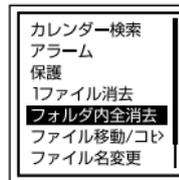
■ ご注意

保護設定されているファイルは、消去できません。保護設定を解除してから操作してください。

1 ホームメニューで「◎(ポッドキャスト)」、「♪(ミュージック)」、「□(録音したファイル)」のいずれかを選び、▶ボタンを押す。

2 ▲ または ▼ を押して、消去したいファイルの入っているフォルダを選び、▶ボタンを押す。

3 オプションメニュー → 「フォルダ内全消去」を選び、▶ボタンを押して決定する。



「フォルダ内のファイルを全て消去しますか?」と表示されます。

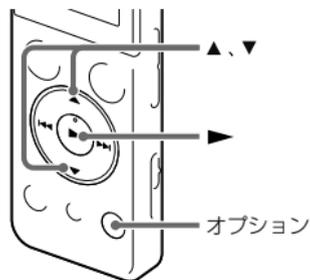
4 ▲ または ▼ を押して、「はい」を選び、▶ボタンを押す。
「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、フォルダ内の全ファイルが消去されます。

途中で消去をやめるには

手順4で「いいえ」を選び、▶ボタンを押します。

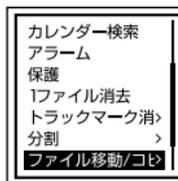
フォルダ内のファイルを整理する

ファイルを別のフォルダに移動する



選んだファイルをお好みのフォルダに移動できます。

- 1 移動させたいファイルを選ぶ。
- 2 停止中にオプションメニュー → 「ファイル移動 / コピー」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 3 ▲または ▼ を押して「内蔵メモリーへ移動」または「メモリーカードへ移動」を選び、▶ ボタンを押す。
- 4 ▲または ▼ を押して、移動先を「□(録音したファイル)」または「♪(ミュージック)」から選び、▶ ボタンを押す。
- 5 ▲または ▼ を押して、移動先のフォルダを選び、▶ ボタンを押す。



「しばらくお待ちください」と表示され、移動先フォルダの最終ファイルの位置にファイルを移動します。移動すると、もとのフォルダからそのファイルはなくなります。

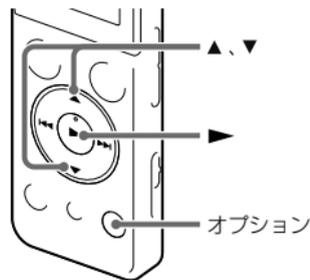
途中でファイルの移動をやめるには

手順5で「しばらくお待ちください」と表示されているときに、戻る／ホームボタンを押し、「はい」を選びます。

■ ご注意

- 保護設定されているファイルは、移動できません。保護設定を解除してから操作してください。
- ポッドキャストのファイルは、移動できません。

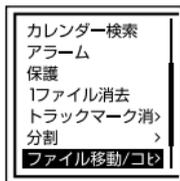
ファイルを別のフォルダにコピーする



選んだファイルをお好みのフォルダにコピーします。バックアップをとる場合などに便利です。

- 1 コピーしたいファイルを選ぶ。

- 2 停止中にオプションメニュー→「ファイル移動/コピー」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 3 ▲または▼を押して「内蔵メモリーへコピー」または「メモリーカードへコピー」を選び、▶ボタンを押す。

- 4 ▲または▼を押して、コピー先を「□(録音したファイル)」または「♪(ミュージック)」から選び、▶ボタンを押す。

- 5 ▲または▼を押して、コピー先のフォルダを選び、▶ボタンを押す。
「しばらくお待ちください」と表示され、コピー先フォルダの最後にコピーします。ファイルは同じファイル名でコピーされます。

コピー中に中止するには

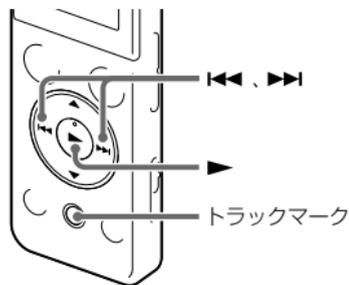
手順5で「しばらくお待ちください」と表示されているときに、戻る/ホームボタンを押し、「はい」を選びます。

❏ ご注意

ポッドキャストのファイルは、コピーできません。

トラックマークを使う

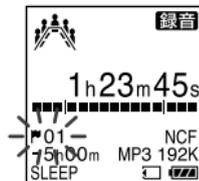
トラックマークを付ける



再生時の頭出しや、分割位置の目安として利用するために、トラックマークを付けることができます。1つのファイルに98個まで設定できます。

録音中、再生中、録音一時停止中、トラックマークを付けたい場所でトラックマークボタンを押す。

■(トラックマーク)表示が3回点滅し、トラックマークが設定されます。



トラックマークを付けた位置を探して聞くには
停止中に ◀◀ または ▶▶ を押します。

■(トラックマーク)表示が1回点滅したら、▶ ボタンを押します。

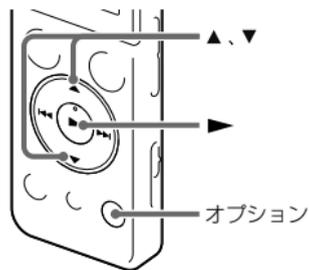
■ ご注意

- 保護設定されているファイルには、トラックマークが付けられません。保護設定を解除してから操作してください。
- 音楽ファイルやポッドキャストファイルには、トラックマークが付けられません。

💡 ヒント

録音中、再生中、録音一時停止中にメニューを表示していても、トラックマークボタンを押すとトラックマークを付けられます。

トラックマークを消去する



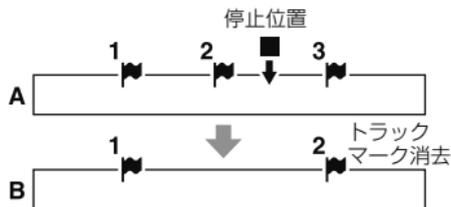
現在位置のトラックマークを消去します。

- 1 トラックマークを消去したいファイルを選ぶ。
- 2 消去したいトラックマーク位置の後で停止する。
- 3 オプションメニュー → 「トラックマーク消去」 → 「現在のトラックマーク」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「トラックマークを消去しますか?」と表示されます。

- 4 ▲ または ▼ を押して、「はい」を選び、▶ ボタンを押す。
「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、設定したトラックマークは消去されます。



- A : トラックマーク消去前 : ■ は停止位置
B : トラックマーク消去後 : 停止位置の一つ前のトラックマークが消去される。

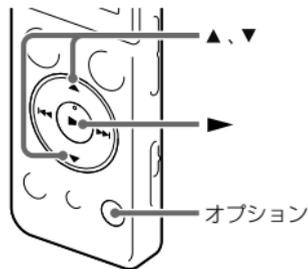
途中で消去をやめるには

手順4で「いいえ」を選び、▶ ボタンを押します。

■ ご注意

- 保護設定されているファイルには、トラックマーク消去ができません。保護設定を解除してから操作してください。
- 録音停止画面では、トラックマークを消去できません。ホームメニューからトラックマークを消去したいファイルを選んでください。

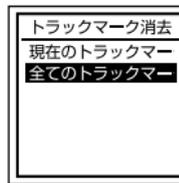
すべてのトラックマークを消去する



選んだファイル内のすべてのトラックマークを削除します。

- 1 トラックマークを消去したいファイルを選ぶ。

- 2 オプションメニュー→「トラックマーク消去」→「全てのトラックマーク」を選び、▶ボタンを押して決定する。



「トラックマークを全て消去しますか?」と表示されます。

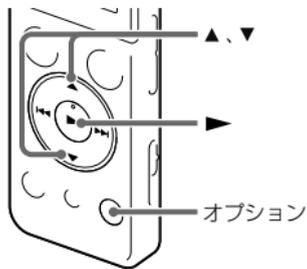
- 3 ▲または▼を押して、「はい」を選び、▶ボタンを押す。
「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、すべてのトラックマークが一度に消去されます。

途中で消去をやめるには

手順3で「いいえ」を選び、▶ボタンを押します。

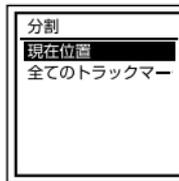
ファイルを分割する

現在位置で分割する



停止中にファイルを分割して、そのファイル名に新しい番号が付けられます。会議など1つのファイルが長時間になったときなどに、複数のファイルに分割しておくことで、再生したい場所がすばやく探せ、便利です。分割したいファイルが入っているフォルダのファイル数がいっぱいになるまで、ファイルを分割できます。

- 1 分割したい位置で停止する。
- 2 オプションメニュー → 「分割」 → 「現在位置」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「現在の停止位置で分割しますか?」と表示されます。

- 3 ▲ または ▼ を押して、「はい」を選び、▶ ボタンを押す。

「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示されて、ファイルが分割されます。分割元のファイルには「_1」が、新しいファイルには「_2」が付きます。

A	ファイル1	ファイル2	ファイル3
	↓	▲	
		ファイル分割	
B	ファイル1	ファイル2_1	ファイル2_2
		ファイル3	

A：分割前：▲ は分割位置

B：分割後：分割したファイル名の末尾に連番(「_1」、「_2」)が付く。

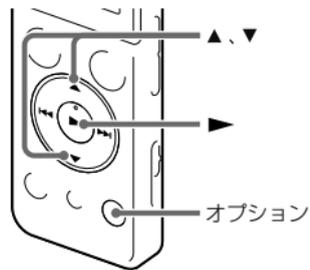
途中で分割をやめるには

手順3で「いいえ」を選び、▶ボタンを押します。

■ ご注意

- 保護設定されているファイルは、分割できません。保護設定を解除してから操作してください。
- 音楽ファイルやポッドキャストファイルは、分割できません。

すべてのトラックマーク位置で分割する



トラックマークのある位置でファイルを分割できます。

- 1 分割したいファイルを選ぶ。
- 2 オプションメニュー → 「分割」 → 「全てのトラックマーク位置」を選び、▶ボタンを押して決定する。



「全てのトラックマーク位置で分割しますか?」と表示されます。

3 ▲ または ▼ を押して、「はい」を選び、▶ ボタンを押す。

「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示されて、すべてのトラックマークが消去され、トラックマークの位置でファイルが分割されます。ひとつのファイルから分割されたファイルには末尾に連番（_01 ~）が振られます。



A：分割前：▶ はトラックマーク位置

B：分割後：トラックマーク位置でファイルが分割され、分割したファイル名の末尾に連番（「_01」、 「_02」）が付く

途中で分割をやめるには

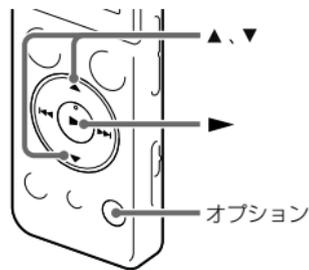
- 手順3で「いいえ」を選び、▶ ボタンを押します。
- 分割中に中止するには、手順3で「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示されているときに、戻る／ホームボタンを押し、「はい」を選びます。

❗ ご注意

- 保護設定されているファイルは、分割できません。保護設定を解除してから操作してください。
- 音楽ファイルやポッドキャストファイルは、分割できません。

名前を変更する

フォルダの名前を変更する



ICレコーダーで録音できるフォルダに対して、フォルダ名を変更できます。

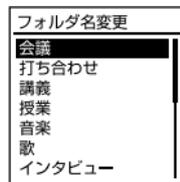
変更するフォルダ名は、テンプレートから選ぶことができます。

- 1 ホームメニュー → 「□(録音したファイル)」を選び、▶ボタンを押して決定する。
- 2 ▲または▼を押して、名前を変更したいフォルダを選ぶ。

- 3 オプションメニュー → 「フォルダ名変更」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 4 ▲または▼を押して、お好みのフォルダ名を選び、▶ボタンを押す。

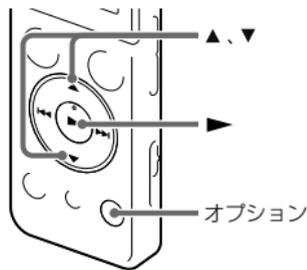


「しばらくお待ちください」と表示され、フォルダ名が変更されます。

💡 ヒント

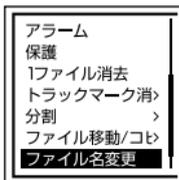
- 同じフォルダ名を選んだときは、フォルダ名の末尾に2～10の数字が付きます。
- テンプレートから「FOLDER」を選んだときは、フォルダ名の末尾には常に01～10の数字が付きます。
- Sound Organizerを使って、テンプレートの編集ができます。

ファイル名を変更する



ホームメニューの「□(録音したファイル)」内のファイルに対して、ファイル名の先頭に文字を追加できます。追加する文字は、テンプレートから選ぶことができます。

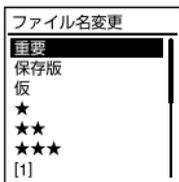
- 1 ホームメニュー → 「□(録音したファイル)」を選び、▶ボタンを押して決定する。
- 2 名前を変更したいファイルを選ぶ。
- 3 再生停止中に、オプションメニュー → 「ファイル名変更」を選び、▶ボタンを押して決定する。



■ ご注意

- 保護設定されているファイルは、操作できません。保護設定を解除してから操作してください。
- 音楽ファイルやポッドキャストファイルは、操作できません。

4 ▲ または ▼ を押して、ファイル名の先頭に追加したい文字を選び、▶ ボタンを押す。



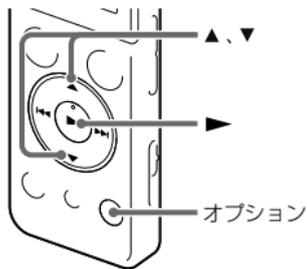
「しばらくお待ちください」が表示され、選択した文字または記号と「_」が、ファイル名の先頭に追加されます。

例(131215_001に「重要」を追加した場合)：
重要_131215_001

💡 ヒント

Sound Organizerを使って、テンプレートの編集ができません。

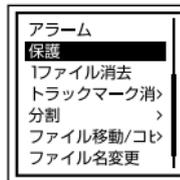
ファイルを保護する



大事なファイルを間違って消去、編集することがないように保護できます。保護されたファイルには、**🔒**(保護)マークが表示され、消去、編集ができない読み取り専用ファイルになります。

- 1 ホームメニュー → 「🎵(ミュージック)」または「📁(録音したファイル)」を選び、▶ボタンを押して決定する。
- 2 保護したいファイルを選ぶ。

- 3 再生停止中にオプションメニュー → 「保護」を選び、▶ボタンを押して決定する。



「保護しました」が表示され、ファイルが保護されます。保護されたファイルには、**🔒**(保護)マークが表示されます。

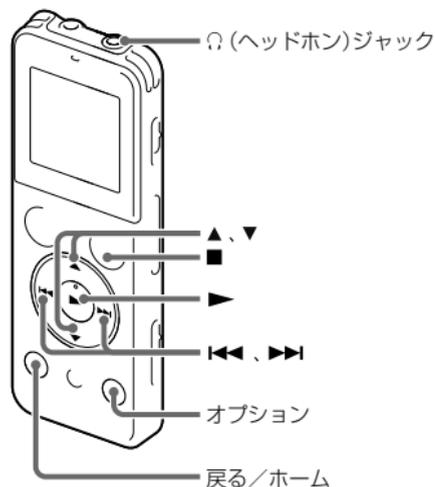
保護を解除するには

保護されたファイルを選び、手順3で「保護解除」を選びます。

❗ ご注意

ポッドキャストファイルは、操作できません。

FMラジオ放送を選局する



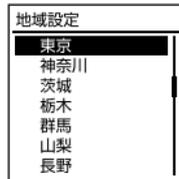
FMラジオ受信時は、付属のステレオヘッドホンがFMアンテナの役割をしますので、(ヘッドホン)ジャックにつなぎ、できるだけ長くのばしてお使いください。スピーカーで聞くとときも、ステレオヘッドホンを(ヘッドホン)ジャックにつなぎ、できるだけ長くのばしてお使いください。

地域を設定して放送局を自動登録する (初めてお使いになるとき)

お買い上げ後初めてラジオをお使いになるとき、現在いる地域を設定すると、地域に応じたラジオの放送局を自動でプリセットリストに登録できます。

お買い上げ時は地域設定されていません。

- 1 ホームメニュー → 「FMラジオ」を選び、▶ ボタンを押して決定する。
FMラジオモードに入ります。
「受信する地域を設定してください」と表示され、地域設定画面が表示されます。
- 2 ▲ または ▼ を押して受信したい地域を選び、▶ ボタンを押して決定する。



設定できる地域については、「選択できる地域」をご覧ください。

「プリセットリスト1へ登録しました」と表示され、選択した地域の放送局がプリセットリストに登録されます。

ヘッドホンがつながっていないときは、「ヘッドホンをつないでください」と表示されます。その場合は、ヘッドホンをつないでください。

3 FMラジオを止めるには ■ 停止ボタンを押す。

💡 ヒント

- 地域の設定はメニューからも操作できます(72 ページ)。
- プリセットリストは3つまで登録できます。FMラジオで受信する地域のプリセット情報を、3地域までプリセットリストに登録し、切り換えて使用することもできます。

選択できる地域

かんたん設定で選択できる地域は、以下の54地域です。

エリア	地域
北海道	北海道(札幌) 北海道(函館) 北海道(旭川) 北海道(帯広) 北海道(釧路) 北海道(北見) 北海道(室蘭)
東北	青森 岩手 秋田 宮城 山形 福島
関東	埼玉 千葉 東京 神奈川 茨城 栃木 群馬
中部	山梨 長野 静岡
東海	愛知 岐阜 三重
北陸	新潟 富山 石川 福井
近畿	大阪 京都 兵庫 滋賀 奈良 和歌山
中国	鳥取 島根 岡山 広島 山口
四国	徳島 香川 愛媛 高知
九州	福岡(福岡) 福岡(北九州) 佐賀 長崎 大分 熊本 宮崎 鹿児島 沖縄

各地域設定で登録される放送局名については、ヘルプガイドをご覧ください。

プリセット登録されている放送局から選局する(プリセット選局)

FMラジオ放送局がプリセット登録されているときは、プリセット番号で選局できます。

- 1 ホームメニュー → 「 (FMラジオ)」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



FMラジオモードに入ります。
ヘッドホンがつながっていないときは、「ヘッドホンをつないでください」と表示されます。その場合は、ヘッドホンをつないでください。

- 2 「音声出力選択」で、「ヘッドホン」または「スピーカー」を選ぶ。
オプションメニュー → 「音声出力選択」を選んで設定します。(86 ページ)
- 3 お好みの放送局のプリセット(P)番号が表示されるまで、◀◀ または ▶▶ を繰り返し押しして選局する。
受信している周波数に放送局名が登録されている場合は、放送局名が表示されます。
- 4 FMラジオを止めるには ■ 停止ボタンを押す。

放送局を周波数で選局する (マニュアルスキャン選局)

- 1 ホームメニュー → 「 (FMラジオ)」を選び、 ボタンを押して決定する。
FMラジオモードに入ります。
- 2 「音声出力選択」で、「ヘッドホン」または「スピーカー」を選ぶ。
オプションメニュー → 「音声出力選択」を選んで設定します。(86 ページ)

- 3 ▲ または ▼ を繰り返し押し続けて選局する。

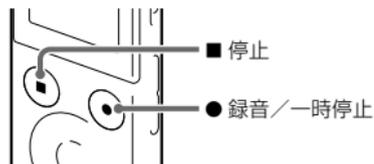


- 4 FMラジオを止めるには ■ 停止ボタンを押す。

オートスキャン選局するには

手順3で、▲ または ▼ を、画面上の周波数が変わり始めるまで長押しすると、周波数をスキャンし、放送を受信すると自動的に停止します。
放送を受信できない場合は、▲ または ▼ を1回ずつ繰り返し押し続けてください。

FMラジオ放送を録音する



- 1 録音したい放送局を選局する。
プリセット選局、マニュアルスキャン選局、またはオートスキャン選局のいずれかの方法で選局します。
- 2 録音したいフォルダを選ぶ。
 - ① オプションメニュー → 「録音先フォルダ(FMラジオ)」を選び、▶ ボタンを押して決定する。
 - ② ▲ または ▼ を押してフォルダを選び、▶ ボタンを押す。
- 3 ● 録音/一時停止ボタンを押す。
録/再ランプが赤く点灯します。

録音操作について詳しくは、「録音を始める」(28ページ)をご覧ください。

4 ■ 停止ボタンを押して録音を止める。

■ ご注意

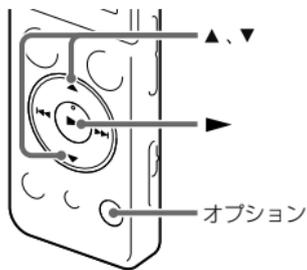
- FMラジオ放送は、LPCMで録音できません。
- FMラジオ録音中は、シーンセレクト、内蔵マイク感度の設定、録音フィルター機能、クリアボイス機能、VOR機能は働きません。

💡 ヒント

ファイルはFM録音としてのファイル名(例：131021_0706_NHK-FM)で、現在選択しているフォルダの最後に保存されます。

プリセットリストを設定、編集する

地域を指定して登録する(地域設定)

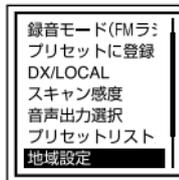


ICレコーダーでは、3つのプリセットリストに受信する地域を登録し、切り換えて使用できます。

お住まいの地域のほかに出張や旅行などで訪れる地域の設定をしておくと、設定した地域に移動した際、簡単にその地域のラジオ局を受信できます。

地域設定画面はお買い上げ後初めてFMラジオをお使いになるときに表示されますが、メニューからも選ぶことができます。

- 1 FMラジオ受信中にオプションメニュー → 「地域設定」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ を押してお好みの地域を選び、▶ ボタンを押す。
プリセットリストの上書きを確認するメッセージが表示されます。
- 3 ▲ または ▼ を押して「はい」を選び、▶ ボタンを押す。

途中で地域設定をやめるには

手順3で「いいえ」を選び、▶ ボタンを押します。

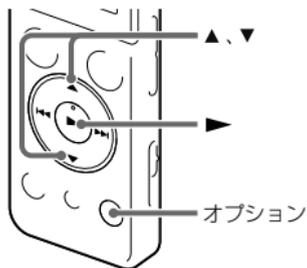
💡 ヒント

- 地域設定を行うと、放送局名を変更することもできます。
- 他のプリセットリストに登録する場合は、あらかじめ登録したいプリセットリストに切り換えてから地域設定を行ってください。

❗ ご注意

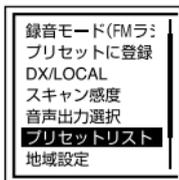
すでにプリセットされているFMラジオ放送局がある場合、地域設定をするとそのプリセットは消え、選択した地域のプリセットに置き換わります。

プリセットした地域設定を切り換える (プリセットリスト選択)

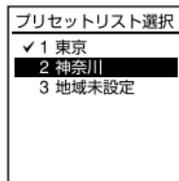


プリセットリストに登録した地域設定を選んで、お使いになる地域の放送局を受信できます。

- 1 FMラジオ受信中にオプションメニュー→「プリセットリスト選択」を選び、▶ボタンを押して決定する。



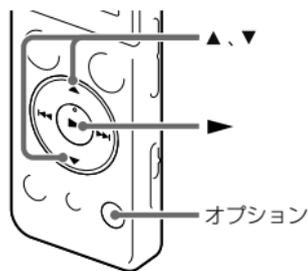
- 2 ▲または▼を押してお好みのプリセット地域を選び、▶ボタンを押す。



💡 ヒント

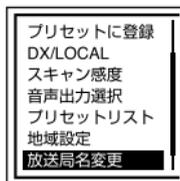
地域設定していない項目は「地域未設定」と表示されます。

放送局名を変更する(放送局名変更)



地域設定がされていると、プリセット登録した放送局に対して、放送局名を変更できます。FMラジオ受信中に操作を行います。

- 1 FMラジオ受信中にオプションメニュー → 「放送局名変更」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ を押して放送局名を選び、▶ ボタンを押す。

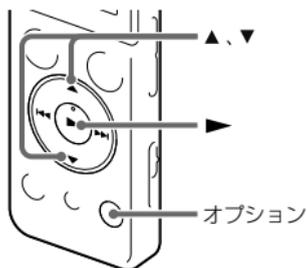
💡 ヒント

放送局を表示したくない場合は、手順2で「設定なし」を選びます。

⚠️ ご注意

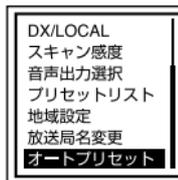
選択したプリセットリストが地域設定されていない場合は、操作できません。

自動でプリセット登録する (オートプリセット)



現在選択しているプリセットリストの地域で受信できるFMラジオ放送局を検出し、プリセット番号に自動で登録できます。最大30件まで登録できます。

- 1 FMラジオ受信中にオプションメニュー → 「オートプリセット」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「プリセットが上書きされます 実行しますか?」と表示されます。

- 2 ▲または▼を押して、「はい」を選び、▶ ボタンを押す。

受信可能な放送局をスキャンし、プリセット番号に低い周波数から高い周波数へ順に自動登録します。オートプリセット実行中、登録予定のプリセット番号が点滅します。

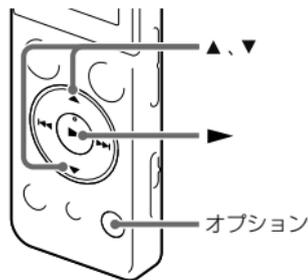
❏ ご注意

すでにプリセット登録されているFMラジオ放送局がある場合、プリセットが上書きされます。

💡 ヒント

設定途中でオートプリセットをやめるには、手順2で「いいえ」を選び、▶ ボタンを押します。

手動でプリセット登録する

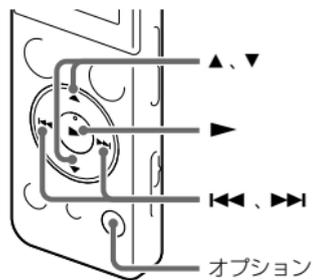


プリセットリストに登録されていないFMラジオ放送局をプリセット登録できます。

- 1 ホームメニュー → 「 (FMラジオ)」を選び、▶ を押して決定する。
FMラジオモードに入ります。

- 2 ▲ または ▼ を繰り返し押し続けてプリセット登録したい放送局を選局する。
選局した放送局がプリセット登録されていない場合、「P-」が表示されます。この場合、新たにプリセット登録できます。
- 3 オプションメニュー → 「プリセットに登録」を選び、▶ ボタンを押して決定する。
放送局がプリセット登録されます。

プリセット登録を消去する



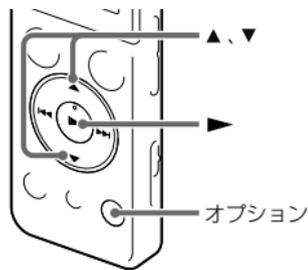
プリセットリストに登録されているFMラジオ放送局のプリセット登録を消去できます。

- 1 ホームメニュー → 「 (FMラジオ)」を選び、► を押して決定する。
FMラジオモードに入ります。
- 2 登録を消去したい放送局のプリセット(P)番号が表示されるまで、◀◀ または ▶▶ を繰り返し押して選局する。

- 3 オプションメニュー → 「プリセットを解除」を選び、► ボタンを押して決定する。
プリセット番号が「P-」へ変わります。

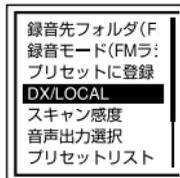
FMラジオ受信の設定を変更する

受信感度を切り換える



FMラジオ受信中に受信感度を設定できます。

- 1 FMラジオ受信中またはFMラジオ録音中にオプションメニュー→「DX/LOCAL」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼を押して、「DX」または「LOCAL」を選び、▶ボタンを押す。

DX* 通常はこちらを選択してください。

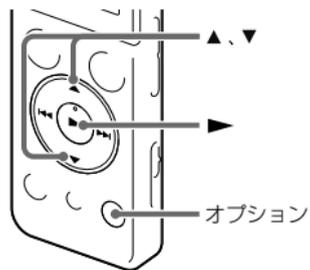
LOCAL 放送局の送信アンテナ周辺の強電界による混信／つぶれなどがあるときは、こちらを選択してください。

* お買い上げ時の設定

❗ ご注意

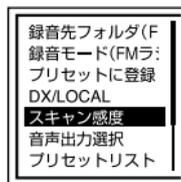
弱電界により受信状態が良くないときは、「DX」のままお使いください。

スキャン感度を切り換える



プリセット時のスキャン感度を設定できます。

- 1 FMラジオ受信中にオプションメニュー→「スキャン感度」を選び、►ボタンを押して決定する。



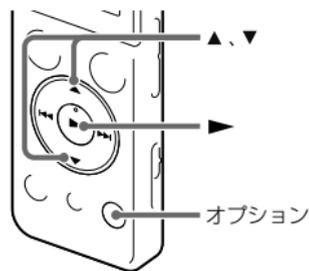
- 2 ▲または▼を押して、「高(SCAN H)」または「低(SCAN L)」を選び、►ボタンを押す。

高(SCAN H)* スキャン感度を高くします。

低(SCAN L) スキャン感度を低くします。

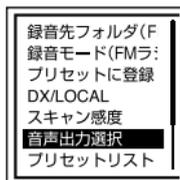
* お買い上げ時の設定

音声の出力先を切り換える



FMラジオ受信中あるいはFMラジオ録音中に、メニューで音声の出力先をスピーカーあるいはヘッドホンへ切り換えることができます。

- 1 FMラジオ受信中またはFMラジオ録音中にオプションメニュー → 「音声出力選択」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



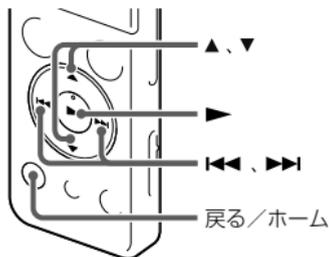
- 2 ▲ または ▼ を押して、「ヘッドホン」または「スピーカー」を選び、▶ ボタンを押す。

ヘッドホン* 音声はヘッドホンから出力されます。

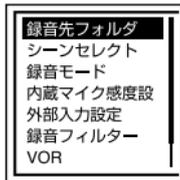
スピーカー 音声はスピーカーから出力されます。

* お買い上げ時の設定

各種設定メニューの使いかた



- 1 ホームメニュー → 「 (各種設定)」を選び、**▶**を押して決定する。
各種設定メニュー画面が表示されます。



- 2 ▲または▼を押してお好みの設定メニューを選び、**▶**を押して決定する。

- 3 ▲または▼を押して、設定したい項目を選び、**▶**ボタンを押す。

- 4 ▲または▼を押して設定内容を選び、**▶**ボタンを押して決定する。
設定完了画面が表示されます。

- 5 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。
■ 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

□ ご注意

操作しない状態が1分以上続くと、各種設定メニューが自動的に解除され、ホームメニュー画面に戻ります。

1つ前の画面に戻るには

メニュー操作中に戻る／ホームボタンを押します。

各種設定メニュー項目一覧

設定メニュー	設定項目	参照ページ
録音設定	録音先フォルダ	28
	シーンセレクト	32
	録音モード	35
	内蔵マイク感度設定	35
	外部入力設定	38
	録音フィルター	35
	VOR	37
	シンクロ録音	38
再生設定	クリアボイス	43
	エフェクト	47
	イージーサーチ	51
	再生モード	48
FMラジオ設定	録音先フォルダ(FMラジオ)	76
	録音モード(FMラジオ)	35
	DX/LOCAL	84
	スキャン感度	85
	音声出力選択	86

設定メニュー	設定項目	参照ページ
FMラジオ設定	プリセットリスト選択	79
	地域設定	77
共通設定	ランプ	90
	画面オフタイマー	90
	操作音	90
	メモリー切り換え	90
	時計設定	91
	時刻表示形式	91
	スリープタイマー	91
	オートパワーオフ	92
設定初期化	設定初期化	92
	メモリー初期化	92
	録音可能時間	92
	本体情報	92

オプションメニュー項目一覧

各ホームメニューでオプションボタンを押した際に表示されるオプションメニューの一覧です。

録音したファイル

オプションメニュー名	参照ページ
書き起こし用再生	44
書き起こし終了	45
クリアボイス	43
イージーサーチ	51
イージーサーチ間隔設定	51
再生モード	48
カレンダー検索	52
アラーム	54
保護	71
保護解除	71
1ファイル消去	57
フォルダ内全消去	58
トラックマーク消去	63
分割	65
ファイル移動/コピー	59、60
フォルダ名変更	68
ファイル名変更	69
ファイル情報	42

録音

オプションメニュー名	参照ページ
録音先フォルダ	28
シーンセレクト	32
録音モード	35
内蔵マイク感度設定	35
外部入力設定	38
録音フィルター	35
VOR	37
1ファイル消去	57

ミュージック

オプションメニュー名	参照ページ
書き起こし用再生	44
書き起こし終了	45
エフェクト	47
イージーサーチ	51
イージーサーチ間隔設定	51
再生モード	48
アラーム	54
保護	71
保護解除	71
1ファイル消去	57
フォルダ内全消去	58
ファイル移動/コピー	59、60
ファイル情報	42

ポッドキャスト

オプションメニュー名	参照ページ
書き起こし用再生	44
書き起こし終了	45
エフェクト	47
イージーサーチ	51
イージーサーチ間隔設定	51
再生モード	48
1ファイル消去	57
フォルダ内全消去	58
ファイル情報	42

FMラジオ

オプションメニュー名	参照ページ
録音先フォルダ(FMラジオ)	28
録音モード(FMラジオ)	76
プリセットに登録	82
プリセットを解除	83
DX/LOCAL	84
スキャン感度	85
音声出力選択	86
プリセットリスト選択	79
地域設定	77
放送局名変更	80
オートプリセット	81

ランプ

録／再ランプの点灯、消灯を設定します。

オン* 動作中は録／再ランプが点灯または点滅します。

オフ 動作中も録／再ランプは点灯／点滅しません。

* お買い上げ時の設定

■ ご注意

パソコンに接続しているときは、「オフ」に設定していても録／再ランプは点灯／点滅します。

画面オフタイマー

電池の消費を抑えるために自動で画面表示を消すかを設定します。

自動で画面を消す* 使用時の電池の消費を抑えたいときは、この設定を選びます。

下記の場合に自動で画面表示が消える設定になります。操作をしないまま停止時は約30秒、録音、再生、FMラジオ受信時も約10秒経過すると、画面表示が消えます。

画面を消さない 自動では画面表示が消えません。電池の消費を抑えたいときは、「自動で画面を消す」を設定してください。

* お買い上げ時の設定

操作音

確認音を設定します。

オン* 操作時の受け付け確認音およびエラー時の操作音が鳴ります。

オフ 操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません。

* お買い上げ時の設定

■ ご注意

「オフ」に設定していてもアラームは鳴ります。

メモリー切り換え

録音したファイルを保存する、または再生、編集、コピーするファイルが保存されているメモリーを選びます。

内蔵メモリー* 内蔵メモリーを使用します。

メモリーカード ICレコーダーのメモリーカードスロットに挿入されているメモリーカードを使用します。

* お買い上げ時の設定

■ ご注意

メモリーカードを取り出すと、自動的に内蔵メモリーが選択されます。

時計設定

時計設定の方法を選択します。

自動(対応ソフトと同期)*	ICレコーダーをパソコンにつないで、Sound Organizerを起動すると、パソコンの時計に自動的に合わせます。
---------------	--

手動	「年」「月」「日」「時」「分」をそれぞれ設定して時計を合わせます。
----	-----------------------------------

* お買い上げ時の設定

時刻表示形式

時刻表示形式を設定します。

12時間*	12:00AM=真夜中、12:00PM=正午
-------	------------------------

24時間	0:00=真夜中、12:00=正午
------	-------------------

* お買い上げ時の設定

スリープタイマー

スリープタイマーを設定します。

オフ*	スリープタイマーを解除します。
15分、30分、60分、90分、120分	選択した時間が経過すると自動的に電源が切れます。
継続	スリープタイマー動作時に表示されます。選択すると、スリープタイマー動作が継続し、表示されている残り時間経過後に、自動的に電源が切れます。

* お買い上げ時の設定

■ ご注意

- オートパワーオフ機能が設定されているときは、スリープタイマーの設定時間の前に電源が切れることがあります。
- FMラジオ受信中、録音中でも、スリープタイマーの設定時間が経過すると電源が切れます。

オートパワーオフ

操作されないまま設定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。

オフ	電源は自動的に切れません。
----	---------------

5分	約5分後に電源が切れます。
----	---------------

10分*	約10分後に電源が切れます。
------	----------------

30分	約30分後に電源が切れます。
-----	----------------

60分	約60分後に電源が切れます。
-----	----------------

* お買い上げ時の設定

設定初期化

メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

はい	「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、設定を初期化します。
----	---------------------------------------

いいえ	初期化しません。
-----	----------

❗ ご注意

アラーム、保護、メモリー切り換え、時計設定、地域設定、プリセットリスト、放送局名変更については初期化されません。

メモリー初期化

現在選択されているメモリー（内蔵メモリーまたはメモリーカード）を初期化します。メモリー内のすべてのデータを消去し、フォルダ構成を初期状態に戻します。

はい	「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、初期化します。
----	------------------------------------

いいえ	初期化しません。
-----	----------

❗ ご注意

- ICレコーダーで使うメモリーカードはパソコンで初期化しないでください。必ずICレコーダーで行ってください。
- 内蔵メモリーの初期化をすると、内蔵メモリーに保存されていたすべてのデータが消去されます。（保護したファイルやSound Organizerも消去されます。）一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。

録音可能時間

録音可能な残り時間を確認できます。録音可能な残り時間を時間、分、秒で表示します。

本体情報

本体の型名、ソフトウェアのバージョン番号、ユーザー名を表示します。ユーザー名はSound Organizerで設定できます。ファイル名の一部にユーザー名を表示するように設定することもできます。

パソコンにつないで使う

ICレコーダーとパソコンを接続すると、ファイルのやり取りが行えます。

ファイルをICレコーダーからパソコンにコピーして保存する(「Sound Organizerを使う」(別冊))

音楽ファイルをパソコンからICレコーダーにコピーして再生する(「Sound Organizerを使う」(別冊))

USBメモリーとして利用する

パソコンに保存されている画像やテキストファイルなどを一時的に保存できます。詳しい説明についてはヘルプガイドをご覧ください。

Sound Organizerでファイルを管理・編集する(「Sound Organizerを使う」(別冊))

ソフトウェアSound Organizerを使って、ICレコーダーで録音したファイルをパソコンに取り込んで管理・編集したり、パソコンに保存されている音楽ファイルやポッドキャストをICレコーダーに転送したりできます。

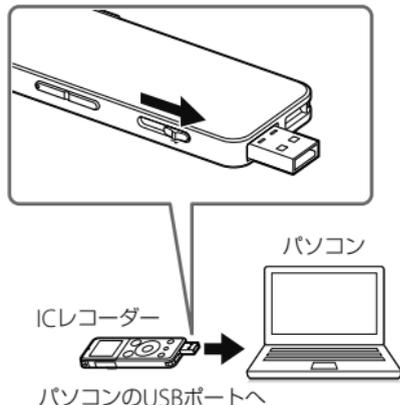
パソコンに必要なシステム構成

パソコンに必要なシステム構成については、104ページ、またはヘルプガイドをご覧ください。

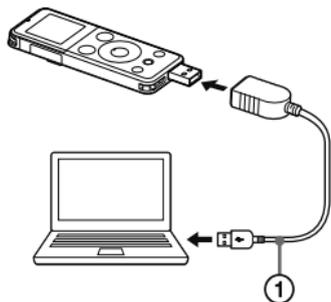
ICレコーダーをパソコンに接続する

ICレコーダーとパソコンでファイルをやり取りするためには、ICレコーダーをパソコンに接続します。

- 1 ICレコーダーのUSBつまみをスライドし、起動しているパソコンのUSBポートに接続する。



ICレコーダーがパソコンのUSBポートに直接接続できない場合は、付属のUSB接続補助ケーブル(①)をお使いください。



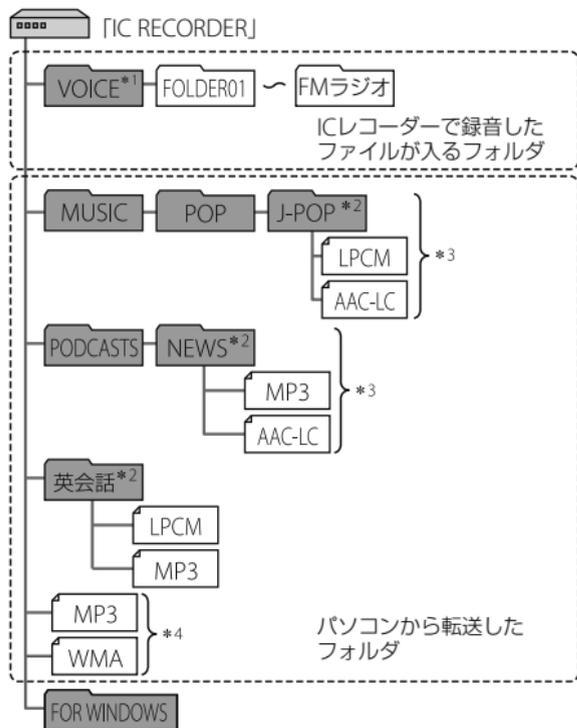
接続するとパソコン側でICレコーダーを認識することができ、ファイルのやり取りが行えます。接続している間はICレコーダーの表示窓に「接続中」の表示が出ています。

フォルダとファイルの構成

ICレコーダーをパソコンに接続すると、フォルダやファイルの構成をパソコンの画面で見ることができます。WindowsではExplorerを使って、MacではFinderを使って、「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」を開くと、フォルダやファイルを表示できます。パソコンの画面で見ると、次の図のように表示されます。

- 2** 正しく認識されているかを確認する。
Windowsでは、[コンピューター] (または[マイコンピュータ])を開き、「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」が新しく認識されているかを確認してください。
Macでは、Finderに「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」という名前のドライブが表示されているかを確認してください。

内蔵メモリーの場合



*1 VOICEフォルダ直下にファイルを転送しても、ICレコーダーの「録音したファイル」内には表示されません。ファイルを転送するときは、VOICEフォルダ配下のフォルダ内にファイルを入れてください。

*2 音楽ファイルやポッドキャストが保存されたフォルダ名はICレコーダーでも同じフォルダ名として表示されます。管理しやすいフォルダ名にしておくとう便利です。(図は、フォルダ名称の例です。)

*3 音楽ファイルを認識できるのは、ICレコーダーに転送したフォルダの8階層目までとなります。

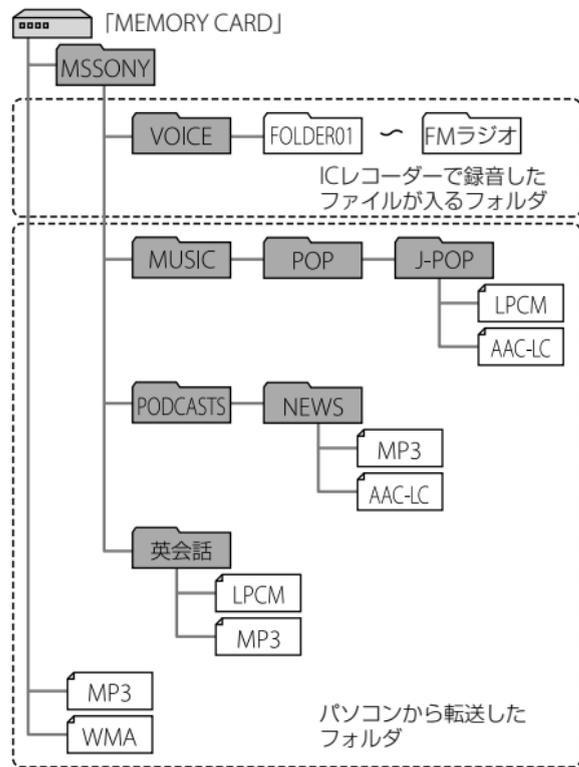
*4 音楽ファイルを単独で転送すると「未分類」のフォルダとして扱われます。

💡 ヒント

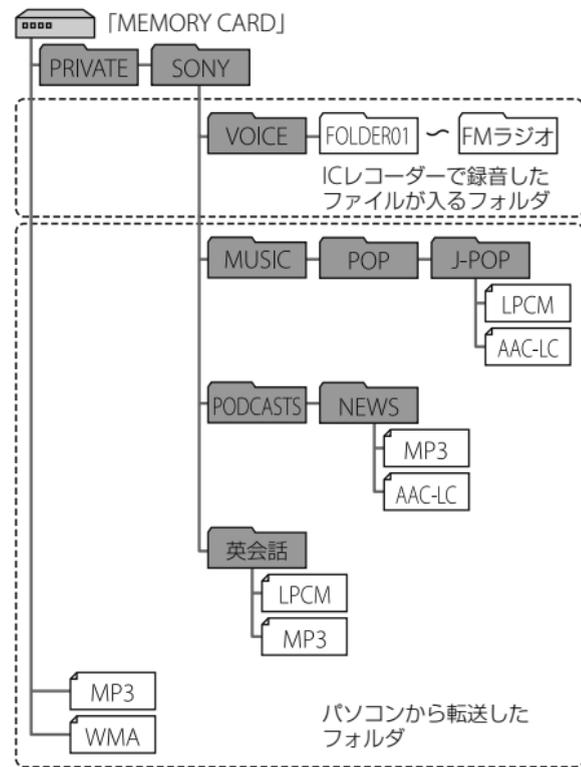
- ICレコーダーでは、音楽ファイルに登録されているタイトル名やアーティスト名などの情報を表示できますので、音楽ファイルを作成するソフトやパソコンで情報を入力しておくとう便利です。
- タイトル名またはアーティスト名が登録されていない場合は、ICレコーダーでは「No Data」と表示されます。

ICレコーダーのメモリーを「メモリーカード」に切り換えてから(25 ページ)パソコンに接続した場合、内蔵メモリーの場合とはフォルダの構成が異なります。

メモリスティック マイクロ™ (M2™)の場合



microSDカードの場合



ICレコーダーで見たフォルダの構成

ICレコーダーの表示窓で見たフォルダの構成は、パソコンで見た場合とは異なります。(22 ページ)

■ ご注意

ICレコーダーで再生できるファイルが入っていないフォルダは、ICレコーダーでは表示されません。

ICレコーダーをパソコンから取りはずす

必ず下記の手順で取りはずしてください。この手順で行わないと、データが破損するおそれがあります。

- 1 ICレコーダーの録／再ランプが消えていることを確認する。
- 2 パソコンで下記の操作を行う。

Windowsの場合：

タスクバー（パソコンの画面右下）にあるアイコンを左クリックしてください。



→ [IC RECORDERの取り外し] (Windows 7、Windows 8) または、[USB大容量記憶装置 - ドライブを安全に取り外します] (Windows XP、Windows Vista) を左クリックしてください。アイコン、メニューの表示はOSの種類によって異なる場合があります。

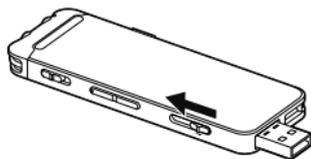
お使いのパソコンの設定によっては、タスクバーにアイコンが表示されない場合があります。

Macの場合：

Finderのサイドバーに表示されている「IC RECORDER」の取り外しアイコンをクリックしてください。

パソコンから取りはずす方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

- 3 ICレコーダーをパソコンのUSBポートからはずし、ICレコーダーのUSBつまみを矢印の方向にスライドしてUSB端子を収納する。



USB ACアダプターにつないで使う

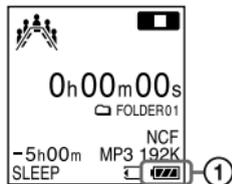


付属のUSB AC アダプター (ICD-UX544Fのみ)または別売りのUSB AC アダプターを使って、ICレコーダーと家庭用電源(コンセント)をつないで内蔵充電式電池を充電したり、つないだままICレコーダーを使用したりできます。長時間録音をする場合などに便利です。はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、電池マークが「FULL」になるまで連続して充電してください。

電池を使いきった状態から約2時間30分*で充電が完了します。

* 室温で電池残量がない状態から充電したときの目安です。電池の残量や状態などにより、上記の充電時間と異なる場合があります。また、充電式電池の温度が低い場合や、データをICレコーダーに転送中なども充電時間は長くなります。

- 1 USB ACアダプターをコンセントにつなぐ。
- 2 ICレコーダーのUSBつまみをスライドし、USB ACアダプターにつなぐ。
充電中は、電池マーク(①)がアニメーション表示されます。
充電をしながらICレコーダーを使用することができます。



■ ご注意

- 内蔵スピーカーで再生中は充電できません。
- ICレコーダーを直接USB ACアダプターに接続できない場合は、USB接続補助ケーブル(付属)を使って接続してください。
- 録音中(録／再ランプが赤に点灯、点滅)やアクセス中(録／再ランプがオレンジに点滅)はコンセントにつないだ状態のUSB ACアダプターからICレコーダーを抜き差ししたり、ICレコーダーを接続したUSB ACアダプターをコンセントから抜き差ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。
- FMラジオ受信中、またはFMラジオ録音中は充電できません。

ICレコーダーを取りはずす

必ず下記の手順で取りはずしてください。この手順で行わないと、ICレコーダーにデータが入っている場合に、データが破損して再生できなくなるおそれがあります。

- 1 録音や再生などの動作中の場合、■ 停止ボタンを押して動作を停止する。
- 2 録／再ランプが消えていることを確認する。
- 3 ICレコーダーをUSB ACアダプターから取りはずし、USB ACアダプターをコンセントから抜く。

■ ご注意

録音中(録／再ランプが赤に点灯、点滅)やアクセス中(録／再ランプがオレンジに点滅)はコンセントにつないだ状態のUSB ACアダプターからICレコーダーを抜き差ししたり、ICレコーダーを接続したUSB ACアダプターをコンセントから抜き差ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

使用上のご注意

使用場所について

運転中の使用は危険ですのでおやめください。

取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。ICレコーダーの故障の原因となります。
- ICレコーダーをお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
 - ICレコーダーをズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。
 - ICレコーダーにヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 温度が非常に高いところ(60℃以上)。
 - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - 窓を閉めきった自動車内(特に夏期)。
 - 風呂場など湿気の多いところ。
 - ほこりの多いところ。

- 水がかからないようご注意ください。ICレコーダーは防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
 - 洗面所などでICレコーダーをポケットに入れての使用。
身体がかがめたときなどに、落として水濡れの原因になる場合があります。
 - 雨や雪、湿度の多い場所での使用。
 - 汗をかく状況での使用。
濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットにICレコーダーを入れると、水濡れの原因になることがあります。
- 空気が乾燥する時期にヘッドホンを使用すると、耳にビリビリと痛みを感じることがありますが、ヘッドホンの故障ではなく、人体に蓄積された静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身につけていただくことにより、軽減されます。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ノイズについて

- 録音中や再生中にICレコーダーを電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中にICレコーダーに手などが当たったり、こすったりすると、雑音録音されることがあります。

お手入れ

本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ずパソコンなどにバックアップしてください。

メモリーカードの使用について

- 初期化は必ずICレコーダーで行ってください。パソコンなどICレコーダー以外の機器を用いて初期化したメモリーカードは、ICレコーダーでの動作を保証しません。
- すでにデータが書き込まれているメモリーカードを初期化すると、そのデータが消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないように、ご注意ください。

- メモリーカードは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 録音／再生／初期化中は、メモリーカードを抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- 表示窓に「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示されている間や、録／再ランプがオレンジに点滅している間はメモリーカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。
- 対応仕様のメモリーカードでも、すべてのメモリーカードでの動作を保証するものではありません。
- M2™の対応表については、<http://www.sony.jp/products/ms/compatible/icrecorder.html> をご覧ください。
- "MagicGate™" (マジックゲート)は、ソニーが開発した、著作権を保護する技術の総称です。お使いのICレコーダーは、MagicGate™によるデータ録音、再生には対応していません。
- お使いのICレコーダーはパラレルデータ転送には対応していません。
- ROMタイプのメモリーカード、誤消去防止、書き込み禁止のメモリーカードは、ご使用いただけません。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
 - 読み込み中、書き込み中にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切った場合
 - 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合

- お客様の記録したデータの破損(消滅)については、弊社は一切その責任を負いかねますのでご容赦ください。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- 端子部には手や金属などを触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所ではお使いにならないでください。
 - － 使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど)
 - － 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- お使いの際は正しい挿入方向をご確認ください。

主な仕様

必要なシステム構成

パソコンと接続する場合や、USBメモリーとして使う場合に必要なシステム構成は以下の通りです。

Sound Organizerをお使いの場合は、ヘルプガイドをご覧ください。

OS

- Windows 8 / Windows 7 (Service Pack1以降) / Windows Vista (Service Pack2以降) / Windows XP (Service Pack3以降)
 - Mac OS X (v10.5 ~ v10.8)
- 標準インストール(日本語版のみ)

■ ご注意

- 上記のOSがパソコン工場出荷時にインストールされている必要があります。
アップグレードした場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- Windows XPについては、64ビット版のOSは動作保証いたしません。
- 最新の対応OSについては、128 ページに記載のICレコーダー サポート・お問い合わせページをご覧ください。

以下の性能を満たしたWindowsコンピューターまたはMac

- サウンドボード：各OSに対応したもの
- USBポート
- ディスクドライブ：音楽CDを作成する場合はCD-R/RWドライブが必要です。

■ ご注意

推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。また、自作パソコンなどへお客様自身がインストールしたものや、アップグレードしたもの、マルチブート環境、マルチモニタ環境での動作保証はいたしません。

ICレコーダーの仕様

容量(ユーザー使用可能領域)

ICD-UX543F: 4 GB (約3.60 GB = 3,865,470,566 Byte)

ICD-UX544F: 8 GB (約7.20 GB = 7,730,941,132 Byte)

メモリー容量の一部をデータ管理領域として使用しています。

最大フォルダ数(1ドライブ内)

400フォルダ

最大ファイル数(1フォルダ内)

199ファイル

最大ファイル数(1ドライブ内)

4,074ファイル(フォルダ数が21の場合)

周波数範囲

- LPCM 44.1kHz/16bit: 50 Hz ~ 20,000 Hz
- MP3 192kbps: 50 Hz ~ 20,000 Hz
- MP3 128kbps: 50 Hz ~ 16,000 Hz
- MP3 48kbps (MONO): 50 Hz ~ 14,000 Hz
- MP3 8kbps (MONO): 50 Hz ~ 3,400 Hz

対応ファイルフォーマット

MP3*1

- ビットレート: 32 kbps ~ 320 kbps、可変ビットレート (VBR)対応
- サンプリング周波数: 16/22.05/24/32/44.1/48 kHz
- 拡張子: .mp3

*1 これに加えてICレコーダーの各録音モードで録音したMP3ファイルの再生にも対応しています。すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

WMA*2

- ビットレート: 32 kbps ~ 192 kbps、可変ビットレート (VBR)対応
- サンプリング周波数: 44.1 kHz

- 拡張子: .wma

*2 WMA Ver.9には準拠していますが、MBR (Multi Bit Rate)、Lossless、Professional、Voiceには対応していません。著作権保護されたファイルは再生できません。すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

AAC-LC*3

- ビットレート: 16 kbps ~ 320 kbps、可変ビットレート (VBR)対応
 - サンプリング周波数: 11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48 kHz
 - 拡張子: .m4a
- *3 著作権保護されたファイルは再生できません。すべてのAACエンコーダーに対応しているわけではありません。

LPCM

- サンプリング周波数: 44.1kHz
- 量子化ビット数: 16 ビット
- 拡張子: .wav

FMラジオ受信周波数

76.0 MHz ~ 90.0 MHz IF 128 kHz

FMアンテナ

ステレオヘッドホンコードアンテナ

スピーカー

直径16 mm

入・出力端子

- 外部入力(ステレオミニジャック)
プラグインパワー対応 最小入力レベル: 1.0 mV
- ヘッドホン(ステレオミニジャック)
推奨負荷インピーダンス: 16 Ω
- USB端子(USB Type-A端子) High-Speed USB対応
- カードスロット
メモリースティック マイクロ™ (M2™) / microSD対応スロット

再生スピード調節(DPC)

- 2.00倍速～0.50倍速: MP3/WMA/AAC-LC
- 1.00倍速～0.50倍速: LPCM

実用最大出力

150 mW

電源

DC 3.7V、内蔵リチウムイオン充電式電池

動作温度

5℃～35℃

最大外形寸法(最大突起部含まず)

約36.6 mm×101.5 mm×10.5 mm
(幅/高さ/奥行き)(JEITA*4)

質量

約49 g (JEITA*4)

*4 電子情報技術産業協会(JEITA)規格。

付属品

9ページ参照

別売アクセサリ

- エレクトレットコンデンサーマイクロホン ECM-CS10、ECM-CZ10、ECM-CS3、ECM-TL3
- オーディオコード RK-G136、RK-G139
- USB ACアダプター AC-UD20

ICレコーダーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

最大録音時間

録音モード、録音シーンの設定別で、最大録音時間*1**2を記載しています。

最大録音時間は、全フォルダ合わせて表のとおりです。

録音モード(録音シーン*3)	内蔵メモリー		メモリーカード				
	ICD-UX543F	ICD-UX544F	2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
LPCM 44.1kHz/16bit	6時間	12時間5分	3時間	6時間	12時間5分	24時間15分	48時間40分
MP3 192kbps 	44時間40分	89時間25分	22時間20分	44時間40分	89時間25分	178時間	357時間
MP3 128kbps 	67時間5分	134時間	33時間30分	67時間5分	134時間	268時間	536時間
MP3 48kbps (MONO)	178時間	357時間	89時間25分	178時間	357時間	715時間	1,431時間
MP3 8kbps (MONO)	1,073時間	2,147時間	536時間	1,073時間	2,147時間	4,294時間	8,589時間

*1 連続録音の場合は、付属のUSB AC アダプター (ICD-UX544Fのみ)または別売りのUSB ACアダプターが必要になります。
詳しくは電池の持続時間(108 ページ)をご確認ください。

*2 表記の最大録音時間は目安です。カードの仕様によって変わることがあります。

*3 お買い上げ時の設定です。

音楽ファイル最大再生時間／ファイル数*4

ビットレート	ICD-UX543F		ICD-UX544F	
	再生時間	曲数	再生時間	曲数
48 kbps	178時間	2,670ファイル	357時間	5,355ファイル
128 kbps	67時間5分	1,006ファイル	134時間	2,010ファイル
256 kbps	33時間30分	502ファイル	67時間5分	1,006ファイル

*4 パソコンにある1ファイル4分のMP3ファイルを転送して再生する場合

電池の持続時間

内蔵充電式電池の持続時間*1、*2

録音モード	録音時	スピーカー再生時*3	ヘッドホン再生時	FMラジオ録音時
LPCM 44.1kHz/16bit	約22時間	約5時間	約30時間	—
MP3 192kbps	約26時間	約5時間	約45時間	約8時間
MP3 128kbps	約26時間	約5時間	約45時間	約8時間
MP3 48kbps(MONO)	約26時間	約5時間	約45時間	約8時間
MP3 8kbps(MONO)	約30時間	約5時間	約45時間	約8時間
音楽ファイル(128kbps/44.1kHz)	—	約5時間	約45時間	—

FMラジオ受信(ヘッドホン再生時)：約8時間

*1 電子情報技術産業協会(JEITA)規格による測定値です。使用条件によって短くなる場合があります。

*2 「画面オフタイマー」を「自動で画面を消す」に設定した場合。

*3 音量レベルを27に設定し、内蔵スピーカーで音楽を再生した場合。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口(巻末)、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではICレコーダーの補修・性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

困ったときは

「症状から調べる」(111 ページ)の各項目で調べる。

リセットする。
リセットすると問題が解決することがあります。

充電する。
充電すると問題が解決することがあります。

上記を確認しても問題が解決しないときは、ソニーの相談窓口(巻末)またはお買い上げ店に相談する。

パソコンを利用できる場合

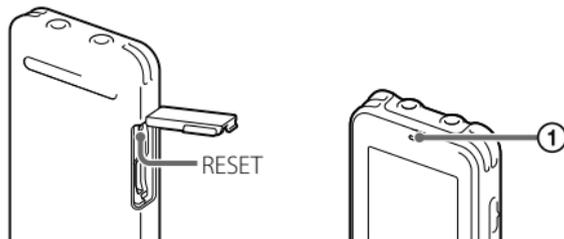
- ヘルプガイドで調べる(128 ページ)
パソコンで「ICレコーダー」の操作について、説明があります。
- ICレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページで調べる(128 ページ)
インターネットに接続できる環境の場合、サポートホームページで最新情報を調べることができます。
- Sound Organizerのヘルプで調べる
(「Sound Organizerを使う」(別冊))
Sound Organizerについての操作方法はSound Organizerのヘルプで調べることができます。

症状から調べる

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。
なお、保証書とアフターサービスについては、109ページをご参照願います。
修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

ICレコーダーのリセットについて

次ページからの「こんなときは」の項目をチェックしてみても解決しない場合、リセットすると、問題が解決することがあります。ピンなど先の細い棒で、RESETボタンを押してください。動作中にRESETボタンを押すと、ICレコーダーに保存しているデータや設定が消去される場合がありますので、録／再ランプ(①)が消えていることを確認してから操作してください。



こんなときは(ICレコーダー)

分類	症状	原因／処置
ノイズ	ノイズが多く聞き取りにくい。	<ul style="list-style-type: none">音声以外の周囲音が録音されてしまうことがあります。 → 再生時に、クリアボイス機能を「クリアボイス1」または「クリアボイス2」に設定すると、プロジェクターや空調などの音声以外の周辺ノイズをカットします。 全帯域のノイズを低減するため、人の声をクリアな音質で再生できます。
	ノイズを少なく録音したい。	<ul style="list-style-type: none">録音フィルター機能の[NCF (Noise Cut)]または、[LCF (Low Cut)]を選択すると、ノイズを軽減した録音ができます。 また、シーンセレクト機能を使うと、さまざまな録音シーンに合わせて、録音モードやマイク感度などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます。
	カサカサと音が録音されている。	<ul style="list-style-type: none">録音したとき、ICレコーダーに手などが当たったり、衣服とこすれたりすると雑音が録音されることがあります。 → 録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。
	ジリジリと音が録音されている。	<ul style="list-style-type: none">録音中や再生中にICレコーダーを電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。 → ICレコーダーを離して録音してください。
	外部マイク(別売)で録音すると、雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none">外部マイクのプラグが汚れています。 → プラグをきれいにクリーニングしてください。
	ヘッドホンで聞くと雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none">ヘッドホンのプラグが汚れています。 → プラグをきれいにクリーニングしてください。
	クリアボイス機能を設定しているのにノイズが入る	<ul style="list-style-type: none">内蔵スピーカーで再生しているとき、FMラジオ録音中は、クリアボイス機能は無効になります。

分類	症状	原因／処置
電源	電源が入らない、または操作ボタンを押しても動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> • 内蔵充電式電池が消耗しています。 • 電源がオフになっています。 → 画面が表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせると、電源が入ります(14 ページ)。 • ホールドがオンになっています。 → ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドしてください(27 ページ)。
	電源が切れない。	<ul style="list-style-type: none"> • 「電源オフ」と表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせると、電源が切れます(14 ページ)。
	電源が自動的に切れる。	<ul style="list-style-type: none"> • 停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます。(お買い上げ時は、設定は10分になっています。)メニューでオートパワーオフ設定を変更すると、電源オフまでの時間を変更できます(92 ページ)。 • スリープタイマーが設定されています。

分類	症状	原因／処置
電源	電池の持続時間が短い。	<ul style="list-style-type: none"> • 「画面オフタイマー」が「画面を消さない」になっています。 「画面オフタイマー」を「自動で画面を消す」にすると、操作をしないまま停止時は約30秒、録音、再生、FMラジオ受信時も約10秒経過すると画面表示が消えて、電池の消耗を抑えられます。 • 108ページの電池の持続時間は、音量レベルを27で再生した場合の目安です。使用条件によって短くなる場合があります。 • 使用しない場合でも、わずかですが電池を消耗します。長い間お使いにならない場合は、こまめに電源を切る(14ページ)ことをおすすめします。また、オートパワーオフ設定(92ページ)時間を短くしておくことと切り忘れての電池の消耗を抑えることができます。 • 短時間で電池残量表示が点灯しますがフル充電になっていません。電池残量がない状態からフル充電までは約2時間30分かかります。 • しばらく使用していませんか？何回か充電、放電(ICレコーダーを動作させる)を繰り返してください。 • 5℃以下の環境で使用しています。電池の特性によるもので故障ではありません。 • 内蔵充電式電池が劣化しています。 <ul style="list-style-type: none"> → 充電式電池は、お使いの環境にもよりますが約500回の充電が可能です。十分に充電した状態でも、使用できる時間が通常の半分ほどになったときは電池が劣化しています。 → ソニーの相談窓口にお問い合わせください。
充電	パソコンで充電できない。	<ul style="list-style-type: none"> • 起動していないパソコンに接続しても充電できません。また、パソコンが起動していても、休止状態(スタンバイ、スリープ)のときは充電できません。 • パソコンからICレコーダーをはずし、再度接続してください。 • ICレコーダーが対応しているシステム構成をご確認ください。

分類	症状	原因／処置
充電	充電表示が表示されない、または途中で消えてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ICレコーダーのUSB端子が正しく接続されていません。 内蔵スピーカーで再生中やFMラジオ受信中は充電できません。 内蔵充電式電池が不活性化しています。 <ul style="list-style-type: none"> → 長期間使わないと、電池が「不活性化」という現象になることがあります。この現象は、何度か充電と放電をくり返しながら使っているうちに、回復することがあります。
	電池残量、充電表示部に COLD または HOT が点滅表示している。	<ul style="list-style-type: none"> ICレコーダーの充電可能な温度範囲外になっています。周囲温度が動作温度(5℃～35℃)になるようにしてください。
動作	正常に動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> パソコンで初期化しています。 <ul style="list-style-type: none"> → ICレコーダーで初期化を行ってください(92 ページ)。
	録／再ランプが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> メニューの「ランプ」が「オフ」に設定されています。 <ul style="list-style-type: none"> → 「オン」に切り換えてください(90 ページ)。
録音	録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> 録音残り時間が不足している場合は録音できません。
	録音が途中で止まる。	<ul style="list-style-type: none"> VORが作動しています。VORを使用しないときは、メニューで「オフ」にしてください(37 ページ)。
	VOR機能が働かない。	<ul style="list-style-type: none"> シンクロ録音では、VOR機能は働きません(37 ページ)。 FMラジオを録音しています。FMラジオ録音中はVOR機能は働きません。
	他の機器から録音するとき、録音レベルが小さすぎたり大きすぎたりする。	<ul style="list-style-type: none"> 他の機器のヘッドホン端子を使ってICレコーダーと接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。 抵抗入りのオーディオコードを使うと録音レベルが小さくなります。抵抗なしコードをお使いください。

分類	症状	原因／処置
再生	再生音量が小さい。	<ul style="list-style-type: none"> ICレコーダーに内蔵しているスピーカーはモニター用のため、再生音が小さくなっています。 → 付属のヘッドホンを使用してください。
	スピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドホンをつないでいます(50 ページ)。 FMラジオ受信中に、メニューの「音声出力選択」が「ヘッドホン」に設定されています。 → 「スピーカー」に切り換えてください(86 ページ)。
	ヘッドホンをつないでいても、スピーカーから音が出る。	<ul style="list-style-type: none"> 再生中にヘッドホンを差し込むとき、最後まで差し込まないとスピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。 → いったんヘッドホンを抜いて、最後までしっかり差し込んでください。 FMラジオ受信中に、メニューの「音声出力選択」が「スピーカー」に設定されています。 → 「ヘッドホン」に切り換えてください(86 ページ)。
	「エフェクト」で音質が変化しない	<ul style="list-style-type: none"> 内蔵スピーカーで再生している場合や、FMラジオ受信中はエフェクト設定は無効になります。 エフェクト機能は音楽ファイル、ポッドキャストの再生時のみ有効です。録音したファイルの再生時は、エフェクト機能は無効になります。
	再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。	<ul style="list-style-type: none"> DPC (速度調節) の設定が「オン」になっているため、調節した再生スピードで再生されています。 → DPC (速度調節) の設定を「オフ」にすると、通常で再生されます。または、DPC (速度調節) の設定で再生スピードを調節してください(46 ページ)。 LPCM形式のファイルは、x1.00倍速を超える速さで再生できません。

分類	症状	原因／処置
編集	ファイルを分割できない。	<ul style="list-style-type: none"> メモリーに一定の空き容量がありません。 選んだフォルダ(□)に199のファイルが入っています。 → 不要なファイルを消去する(57 ページ)か、別のメモリーもしくはパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去してください。 システムの制約により、ファイルのはじめと終わりでファイル分割できないことがあります。 ICレコーダーで録音されたファイル以外(パソコンから転送したファイル)は、分割できません。
	ファイルを移動できない。	<ul style="list-style-type: none"> ポッドキャストは移動できません。 保護されているファイルは移動できません。
	ファイルを別のフォルダへコピーできない。	<ul style="list-style-type: none"> ポッドキャストはコピーできません。
時計	時計表示が「--:--」になる。	<ul style="list-style-type: none"> 時計を合わせていません(15 ページ)。
	録音日時表示が「--y--m --d」または「--:--」になる。	<ul style="list-style-type: none"> 時計を合わせていないときに録音したファイルには、録音した日付は表示されません。
表示	画面表示がすぐに消える。	<ul style="list-style-type: none"> 「画面オフタイマー」が「自動で画面を消す」になっています。 → 「画面オフタイマー」を「自動で画面を消す」にしていると、操作をしないまま停止時は約30秒、録音、再生、FMラジオ受信時も約10秒経過すると画面表示が消えます。「画面を消さない」にすると、電池の消耗が早くなります。
	ICレコーダーに表示される残り時間が、パソコン上での残量表示より短い。	<ul style="list-style-type: none"> ICレコーダーではシステム上必要な領域を差し引いて表示しているため、Sound Organizerでの残量表示と異なる場合があります。
ファイル	「メモリーが一杯です」のアニメーションが表示され、録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> メモリーがいっぱいになっています。 → 不要なファイルを消去する(57 ページ)か、別のメモリーもしくはパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去してください。

分類	症状	原因／処置
ファイル	「ファイルが一杯です」のアニメーションが表示され、操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> • 選んだフォルダ(□)に199のファイルが入っているか、または、全体で4,074のファイル(フォルダが21個のとき)が入っているため、録音やファイル移動ができません。 → 不要なファイルを消去する(57 ページ)か、別のメモリーもしくはパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去してください。
	メモリーカードが認識されない。	<ul style="list-style-type: none"> • メモリーカードを取り出し、裏表を確認して再度入れ直してください(20 ページ)。 • ICレコーダーのメモリーを「メモリーカード」に切り換えてください(25 ページ)。
パソコン	変更したメニュー設定が反映されていない。	<ul style="list-style-type: none"> • 電池残量がない状態でSound Organizerの「本体設定」を使ってメニューの設定を変更した場合、ICレコーダーのメニュー設定が反映されないことがあります。
	フォルダ名やファイル名が文字化けしてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> • WindowsのエクスプローラまたはMacのFinderを使ってパソコンで名前を入力した場合、ICレコーダーで対応していない特殊文字や記号が混ざっていると、ICレコーダーの表示窓では文字化けすることがあります。
	ファイルコピーに時間がかかる。	<ul style="list-style-type: none"> • ファイルサイズによっては、コピーに時間がかかることがあります。実行が終わるまでお待ちください。
	パソコンで認識しない。 パソコンからフォルダ、ファイルが転送できない。	<ul style="list-style-type: none"> • パソコンからICレコーダーをはずし、再度接続してください。 • 付属のUSB接続補助ケーブル以外のUSBハブ、またはUSB延長ケーブルをお使いの場合は、ICレコーダーを直接、または付属のUSB接続補助ケーブルを使って接続してください。 • ICレコーダーが対応しているシステム構成(104 ページ)以外では、動作保証はいたしかねます。 • お使いのパソコンのUSBポートの位置によっては、認識できないことがあります。別のUSBポートに接続してください。
	ICレコーダーに転送したファイルが表示されない、または再生されない。	<ul style="list-style-type: none"> • 表示できるファイルは8階層目までです。 • ICレコーダーで対応しているLPCM(.wav)/MP3(.mp3)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)以外のファイルは、表示されない場合があります。ICレコーダーの仕様をご確認ください(105 ページ)。

分類	症状	原因／処置
パソコン	パソコンが起動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ICレコーダーをパソコンに接続したまま、パソコンを起動すると、パソコンがフリーズしたり、起動しないことがあります。 → ICレコーダーをパソコンからはずして起動してください。
FMラジオ	スピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> FMラジオ受信中に、メニューの「音声出力設定」が「ヘッドホン」に設定されています。 → 「音声出力設定」を「スピーカー」にしてください(86 ページ)。
	ヘッドホンをつないでいても、スピーカーから音が出る。	<ul style="list-style-type: none"> FMラジオ受信中に、メニューの「音声出力設定」が「スピーカー」に設定されています。 → 「音声出力設定」を「ヘッドホン」にしてください(86 ページ)。
	FMラジオ受信中、音声小さい、または音質がよくない。	<ul style="list-style-type: none"> テレビから離してお使いください。
	FMラジオ受信中、テレビの画像が乱れる。	<ul style="list-style-type: none"> 室内アンテナを使用しているテレビの近くでFMラジオ受信中は、テレビから離れてください。
	FMラジオの放送局を受信できない、雑音聞こえる。	<ul style="list-style-type: none"> ステレオヘッドホンをつないでいません。付属のステレオヘッドホンがFMアンテナの役割をします。 → ステレオヘッドホンを Ⓡ (ヘッドホン)ジャックにつなぎ、コードをのぼしてください。 メニューの「DX/LOCAL」が「LOCAL」に設定されています。 → 「DX/LOCAL」設定を「DX」にしてください(84 ページ)。
	FMラジオ放送がプリセット登録できない。	<ul style="list-style-type: none"> FMラジオ放送局が30件登録されています。 → プリセット登録を消去してください(83 ページ)。 メニューの「スキャン感度」が「低(SCAN L)」に設定されています。 → 「スキャン感度」設定を「高(SCAN H)」にしてください(85 ページ)。

こんなときは(Sound Organizer)

Sound Organizerのヘルプもあわせてご覧ください。

症状	原因/処置
インストールできない。	<ul style="list-style-type: none">• ハードディスクの空き容量が少なくなっています。 → 容量を確認してください。• Sound Organizerが動作保証していないOSのパソコンにインストールしようとしませんでしたか？ → 対応しているOS (104 ページ)のパソコンにインストールしてください。• Windows XPの制限ユーザー、Windows Vista、Windows 7またはWindows 8のGuestアカウントでログインしています。 → 「コンピューターの管理者」に所属するユーザー名でログインしてください。
ICレコーダーと接続できない。	<ul style="list-style-type: none">• ソフトウェアのインストール、接続ケーブルの接続などを正しく行ったか確認してください。<ul style="list-style-type: none">- 外付けUSBハブをお使いの場合には、直接パソコンに接続してください。- ICレコーダー側の接続ケーブルを抜き差ししてください。- 他のUSBポートで接続してみてください。• システムサスペンド/システムハイパネーションモードに移行しています。 → システムサスペンド/システムハイパネーションモードに移行しないでください。• 内蔵メモリーやメモリーカードのデータをパソコンにすべてバックアップした後で、内蔵メモリーおよびメモリーカードをICレコーダーで初期化してください(92 ページ)。
パソコンからの再生音量が小さい、 パソコンから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">• サウンドポートが付いていません。• パソコンにスピーカーが内蔵または接続されていません。• ミュートが解除されていません。• パソコン側で音量を上げてみてください。(詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。)• WAVファイルの場合は、サウンドレコーダー (Windowsに搭載)で音量を上げて保存しなおすこともできます。
保存したファイルが再生、編集できない。	<ul style="list-style-type: none">• 対応していないファイル形式のファイルは再生できません。また、ファイル形式によっては一部の編集機能がお使いになれません。詳しくは、ヘルプをご覧ください。

症状	原因／処置
カウンターやスライダーの動きがおかしい、雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none">分割を行ったファイルをパソコン上で再生したときに発生する場合があります。 → いったんハードディスクに保存してから*再度ICレコーダーに戻すと、データが最適化され、正常な再生に戻ります。(*ICレコーダーの形式に合ったファイル形式で保存してください。)
ファイル数が多くなると動作が遅くなる。	<ul style="list-style-type: none">録音時間の長さに関係なく、ICレコーダー内のファイルの総数が多いと、処理に時間がかかることがあります。
ファイルの保存・追加・消去中に画面が動かなくなる。	<ul style="list-style-type: none">録音時間の長いファイルの場合、コピーまたは消去に時間がかかります。 → コピーまたは消去が終了するまでお待ちください。通常の操作ができるようになります。
本ソフトウェアを起動したときフリーズ(ハングアップ)してしまう。	<ul style="list-style-type: none">ICレコーダーと通信を行っている間は絶対にケーブルを抜かないでください。パソコンの動作が不安定になったり、ICレコーダー内のデータが壊れるおそれがあります。他にインストールされているドライバおよびアプリケーションソフトとのコンフリクトの可能性がります。

メッセージ表示一覧

メッセージ表示	原因
ホールド中 ホールドスイッチを解除してください	• ICレコーダーが誤操作防止(ホールド)状態になっているため、すべてのボタン操作が無効になっています。ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドして、ホールドを解除してください(27 ページ)。
電池が残りわずかです	• 電池が残りわずかのため、初期化やフォルダ内消去などができません。内蔵充電式電池を充電してください(12 ページ)。
充電してください	• 電池が消耗しています。内蔵充電式電池を充電してください(12 ページ)。
更新に必要な電池残量がありません	• 電池残量が充分ではないため、ソフトウェアのアップデートができません。内蔵充電式電池を、電池マークが「 FULL 」になるまで充電してください(12 ページ)。
メモリーカードエラー	• メモリーカードスロットにメモリーカードを挿入時にエラーが発生しました。いったんメモリーカードを抜き差ししてください。それでも同じエラーが表示される場合は、別のメモリーカードをお使いください。
非対応のメモリーカードです	• ICレコーダーが対応していないメモリーカードが使われています。「ICレコーダーで使用できるメモリーカード」をご覧ください(24 ページ)。
メモリーカードがロックされています	• メモリーカードが書き込み禁止になっています。メモリーカードのロックを解除してください。
読み取り専用のメモリーカードです	• 読み取り専用メモリーカードが使われています。ICレコーダーではお使いいただけません。
アクセスは禁止されています	• アクセスコントロール機能が働いているメモリーカードを挿入しました。ICレコーダーではお使いいただけません。
メモリーが一杯です	• 録音できるメモリー容量がなくなりました。いくつかのファイルを消去してからやり直してください(57 ページ)。

メッセージ表示	原因
ファイルが一杯です	<ul style="list-style-type: none"> フォルダ内のファイルの合計が、全体のファイル数が最大になったため、新規のファイルを作成できません。いくつかのファイルを消去してからやり直してください(57 ページ)。
登録が一杯です	<ul style="list-style-type: none"> FMラジオのプリセット登録は30件までです。未使用のプリセット登録を解除してください。 フォルダ名が重複しているため、フォルダ名を変更できません。他のフォルダ名に変更してください。
トラックマークが一杯です	<ul style="list-style-type: none"> すでに上限までトラックマークを設定しているため、これ以上追加できません。不要なトラックマークを消去してください(63 ページ)。
ファイルが壊れています	<ul style="list-style-type: none"> 選んだファイルのデータが破損しているため、再生や編集ができません。
内蔵メモリーの初期化が必要です／メモリーカードの初期化が必要です	<ul style="list-style-type: none"> パソコンでメモリー（内蔵メモリーまたはメモリーカード）を初期化したためUSB接続で電源を入れようとしても、動作に必要な管理ファイル作成ができません。メニューでメモリーの初期化をしてください(92 ページ)。パソコンで初期化しないでください。
処理を継続できません	<ul style="list-style-type: none"> RESETボタンを押して、ICレコーダーを再起動してください(111 ページ)。それでも解決しない場合は、必要なデータをバックアップしてからメニューでICレコーダーのメモリー（内蔵メモリーまたはメモリーカード）を初期化してください(92 ページ)。 上記で解決しない場合は、ソニーの相談窓口(巻末)までご連絡ください。
停止してからメモリーカードを再挿入してください	<ul style="list-style-type: none"> 再生、録音処理中にメモリーカードを挿入したため、メモリーカードが認識できませんでした。一度メモリーカードを抜いてから、停止状態のときに、挿入してください。
時計を設定してください	<ul style="list-style-type: none"> 時計合わせをしていないと、アラームは設定できません(17 ページ、54 ページ)。
ファイルがありません	<ul style="list-style-type: none"> 選んだフォルダには1つもファイルがありません。ファイル移動とアラーム再生の設定などの操作ができません。
トラックマークがありません	<ul style="list-style-type: none"> トラックマークが設定されていないため、トラックマークの消去、全分割が実行できません。
メモリーカードがありません	<ul style="list-style-type: none"> メモリーカードスロットにメモリーカードが挿入されていないため、「メモリー切り換え」、「ファイル移動/コピー」の「メモリーカードへ移動」、「メモリーカードへコピー」の設定はできません。

メッセージ表示	原因
ファイルが保護されています	<ul style="list-style-type: none"> • 選んだファイルが保護設定されているか、「読み取り専用」になっています。消去などができません。ICレコーダーで保護設定を解除するか、パソコン上で「読み取り専用」属性をはずすと、操作できるようになります(71 ページ)。
既に設定済みです	<ul style="list-style-type: none"> • 既に別のファイルで同じ日時にアラーム再生が設定されています。設定を変更してください。
過去の日時です	<ul style="list-style-type: none"> • 現在日時よりも前の日時でアラームを設定しようとしています。年月日などもう一度確認して、設定し直してください(54 ページ)。
非対応のデータです	<ul style="list-style-type: none"> • ICレコーダーで対応していないファイル形式のデータです。ICレコーダーが対応しているファイル形式(拡張子)は、LPCM(.wav)/MP3(.mp3)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)となります。詳しくは「ICレコーダーの仕様」をご覧ください(105 ページ)。 • 著作権保護されたファイルは再生できません。
操作できません	<ul style="list-style-type: none"> • 再生専用エリアの「♪」(ミュージック)、「📻」(ポッドキャスト)で管理されているファイルは分割やトラックマーク設定ができません。 • メモリーカードが後発不良(BADBLOCK)になった場合、データの書き込みができません。新しいメモリーカードを準備してください。 • ファイル名が最大文字数に達しているため、分割できません。ファイル名を短くしてください。 • 分割実行位置の前後0.5秒未満にトラックマークが設定されているため、「分割」→「全てのトラックマーク位置」が実行できません。 • ファイルの先頭または終端から0.5秒未満にトラックマークが設定されているため、「分割」→「全てのトラックマーク位置」が実行できません。 • ファイルの長さが1秒未満のため、分割できません。 • ファイルの先頭または終端から0.5秒未満では、「分割」→「現在位置」は実行できません。
新しいファイルで録音を続けます	<ul style="list-style-type: none"> • 録音中のファイルがファイルサイズの上限(LPCMは2GB、MP3は1GB)に達しています。ファイルは自動的に分割され、録音を続けます。
ファイル数が上限を超えるため分割できません	<ul style="list-style-type: none"> • フォルダ内のファイルの合計か、全体のファイル数が最大になったため、ファイルの分割はできません。不要なファイルを消去してからやり直してください(57 ページ)。

メッセージ表示	原因
同名のファイルが存在します	<ul style="list-style-type: none"> 作成されるファイルと同名のファイルが存在しているため、ファイルの作成ができません。
分割位置付近のトラックマークを消去しました	<ul style="list-style-type: none"> 分割実行位置の前後0.5秒以内にトラックマークが設定されていた場合は、自動的に消去されます。
メモリーカードでは操作できません	<ul style="list-style-type: none"> メモリーカードに保存しているファイルには、アラーム設定できません。ICレコーダーのメモリーを「内蔵メモリー」に切り換えてください(25 ページ)。
シーンセレクトが解除されました	<ul style="list-style-type: none"> メニューの「シーンセレクト」が「オフ」以外に設定されているときに、メニューの録音モード、内蔵マイク感度設定、録音フィルター、VORの設定を変更すると、自動的に「シーンセレクト」が「オフ」に変更されます(32 ページ)。
受信する地域を設定してください	<ul style="list-style-type: none"> ラジオを受信する地域が設定されていないと、放送局名を変更することはできません。地域を設定してください(72 ページ)。
プリセット登録してください	<ul style="list-style-type: none"> 放送局(周波数)がプリセット登録されていないと、放送局名を変更することはできません。放送局をプリセット登録してください(81 ページ)。
故障です	<ul style="list-style-type: none"> 何らかの原因でシステムエラーが発生しています。RESET ボタンを押して、ICレコーダーを再起動してください。それでも動作しない場合は、ソニーの相談窓口(巻末)までご連絡ください。
録音中は設定できません/ 録音中は変更できません	<ul style="list-style-type: none"> 録音中はメニューの「内蔵マイク感度設定」、「外部入力設定」の「感度設定」を「オート」に設定できません。また、「オート」から他の設定に変更することもできません。録音を一時停止してから、設定を変更してください(35 ページ、38 ページ)。
内蔵マイク使用時に有効です	<ul style="list-style-type: none"> マイクジャックに外部マイクがつながれているときに、「内蔵マイク感度設定」を変更しました。「内蔵マイク感度設定」は、内蔵マイクを使用するときのみ有効です(35 ページ)。
外部入力使用時に有効です	<ul style="list-style-type: none"> マイクジャックに外部マイクがつながれていないときに、「外部入力設定」を変更しました。「外部入力設定」は、外部マイクを使用するときのみ有効です(38 ページ)。
再生中は操作できません	<ul style="list-style-type: none"> オプションメニューや各種設定メニューで、再生中は実行できない項目を選んでいきます。再生を停止してから、操作してください。

メッセージ表示	原因
録音中は操作できません	<ul style="list-style-type: none">オプションメニューや各種設定メニューで、録音中やFM録音中は実行できない項目を選んでいました。録音を停止してから、操作してください。
FMラジオ中は操作できません	<ul style="list-style-type: none">オプションメニューや各種設定メニューで、FMラジオ受信中は実行できない項目を選んでいました。FMラジオ受信を終了してから、操作してください。
FMラジオ中に操作してください	<ul style="list-style-type: none">FMラジオ受信中以外は、メニューの「地域設定」を変更できません。FMラジオ受信中に操作してください(77 ページ)。
Audio IN使用時は無効です	<ul style="list-style-type: none">「外部入力設定」を「Audio IN」に設定しているときに、「録音フィルター」の設定を変更しました。「Audio IN」を選んでいるときは、録音フィルター機能は動きません(35 ページ、38 ページ)。

システム上の制約

ICレコーダーの録音方式では、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

症状	原因／処置
音楽ファイルを順番に表示、再生できない。	<ul style="list-style-type: none">パソコンを使って、ICレコーダーに転送した音楽ファイルは、システムの制約により転送順にならないことがあります。パソコンにある音楽ファイルを1ファイルずつICレコーダーに転送すると、表示、再生の順番を転送順に合わせることができます。
録音中に自動的に分割されてしまう。	<ul style="list-style-type: none">録音中のファイルまたは音楽がファイルサイズの上限(LPCMは2 GB、MP3は1 GB)に達しています。ファイルは自動的に分割されます。
英文字がすべて大文字になってしまう。	<ul style="list-style-type: none">パソコンで作成したフォルダ名称の文字の組み合わせによっては英文字がすべて大文字になってしまうことがあります。
フォルダ名、ファイル名、アーティスト名、タイトル名が文字化け、または「□」が表示される。	<ul style="list-style-type: none">ICレコーダーで表示できない文字が使用されています。フォルダ名、ファイル名、アーティスト名または、タイトル名を半角英数字に置き換えてください。
A-Bリピート設定で、設定位置がずれてしまう。	<ul style="list-style-type: none">ファイルによっては、設定位置がずれてしまうことがあります。
ファイルを分割すると、録音可能時間が少なくなる。	<ul style="list-style-type: none">ファイルを分割すると、ファイル管理をする領域が必要になるため、録音可能時間が少なくなります。

サポートホームページで調べる

パソコンをインターネットに接続できる環境の場合、ICレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページ(<http://www.sony.jp/support/ic-recorder/>)でトラブルの解決方法や最新情報などを調べることができます。

サポートホームページでは、以下の情報などを見ることができます。

- Q&A (よくある問い合わせ情報)
- ソフトウェアアップデートなどの最新情報
- 製品別サポート情報
- Sound Organizerのソフトウェアの使いかた
- 重要なお知らせ(サポートからの重要なお知らせ)
- 製品登録(製品登録へのご案内)
- Sound Organizerや「ヘルプガイド」のダウンロードサービス

ヘルプガイドで調べる

ヘルプガイドは、ヘルプガイドページ(<http://rd1.sony.net/help/icd/u54/jp/>)で見ることができます。

**注意**

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



分解禁止

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くとときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音がでて耳を痛めることがあります。



禁止

- 本製品の不具合により、録音や再生ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。
また、いかなる場合においても、当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備として、パソコンまたはメモリーカードに保存してください。

ICレコーダーを廃棄するときのご注意



Li-ion

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。

この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。（「ソニーの相談窓口」の連絡先は巻末に記載されています。）

著作権と商標について

著作権について

- 権利者の許諾を得ることなく、このマニュアルの全部または一部を複製、転用、送信等を行うことは、著作権法上禁止されております。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録されたメディア及びメモリースティック™メディアは、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

モジュールについて

Sound Organizerは、以下のソフトウェアモジュールを使用しています。

Windows Media Format Runtime

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

- Mac OSは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Pentiumは米国Intel Corporationの商標または登録商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- microSDおよびmicroSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- “Memory Stick Micro” (“M2”)及び、 は、ソニー株式会社の商標 または登録商標です。



- MagicGate™はソニー株式会社の商標です。
- AmiVoiceおよびAmiVoiceのロゴマークは株式会社アドバンスト・メディアの商標です。

- Nuance、Nuanceのロゴ、Dragon、Dragon NaturallySpeaking、RealSpeakは、米国とその他の国々におけるNuance Communications Inc.、およびその関連会社の商標または登録商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary.

索引

数字、記号、アルファベット順

AAC-LC	105
A-Bリピート	49
DPC (Digital Pitch Control)	46
DX/LOCAL	84
FMラジオ	
FMラジオを聞く	72, 74
FMラジオを録音する	76
音声の出力先を切り換える	86
自動でプリセット登録する	81
受信感度を切り換える	84
手動でプリセット登録する	82
スキャン感度を切り換える	85
LCF(Low Cut)	35
LPCM	105
microSDカード	96
MP3	105
MYシーン編集	34
NCF(Noise Cut)	35
USB ACアダプター	99

VOR (Voice Operated Recording)	37
WMA	105

五十音順

あ行

アフターサービス	109
アラーム	54
イージーサーチ	51
エフェクト	47
オートパワーオフ	92
オートプリセット	81
お手入れ	102
音声出力選択	86
音量調節	30, 41

か行

外部入力設定	38
書き起こし用再生	44

各部のなまえ	
本体(裏面).....	11
本体(表面).....	10
画面オフタイマー.....	90
カレンダー表示.....	52
キュー.....	50
クリアボイス.....	43
現在位置分割.....	65
困ったときは.....	110

さ行

再生.....	40
再生モード.....	48
シーンセレクト.....	32
時刻表示形式.....	91
システム構成.....	104
システム上の制約.....	127
充電する.....	12, 99
修理.....	109
仕様.....	104
消去.....	57, 63
使用上のご注意.....	101

シンクロ録音.....	38
スキャン感度.....	85
スリープタイマー.....	91
設定初期化.....	92
操作音.....	90

た行

他の機器から録音.....	38
他の機器へ録音.....	56
地域設定.....	72, 77
電源を入れる.....	14
電池持続時間.....	108
電池マーク.....	12, 99
時計設定.....	15, 91
トラックマーク.....	62
トラックマーク消去.....	63
トラックマーク全消去.....	64
トラックマーク全分割.....	66

な行

内蔵充電式電池.....	12, 99, 108
内蔵マイク.....	28

内蔵マイク感度設定.....	35
内蔵メモリー.....	95
ノイズ.....	102

は行

パソコンにつなぐ.....	12, 93
パソコンを活用する.....	93
ファイル移動.....	59
ファイルコピー.....	60
ファイル消去.....	57
ファイル名変更.....	69
ファイルを別のメモリーにコピー.....	60
フォルダ.....	59, 94
フォルダ内消去.....	58
フォルダ名変更.....	68
プリセット選局.....	74
プリセットリスト.....	72, 77
プリセットリスト選択.....	79
編集.....	59
放送局名変更.....	80
ホールド.....	26
ホールド・電源スイッチ.....	14, 26

保護.....	71
保証書.....	109
本体情報.....	92

ま行

マニュアルスキャン選局.....	75
メッセージ表示.....	122
メニュー	
DX/LOCAL.....	84
VOR.....	37
アラーム.....	54
イージーサーチ.....	51
一覧.....	88
エフェクト.....	47
オートパワーオフ.....	92
オートプリセット.....	81
オプションメニュー.....	21
音声出力選択.....	86
外部入力設定.....	38
書き起こし用再生.....	44
画面オフタイマー.....	90
カレンダー表示.....	52
クリアボイス.....	43
現在位置分割.....	65

再生モード.....	48
シーンセレクト.....	32
時刻表示形式.....	91
シンクロ録音.....	38
スキャン感度.....	85
スリープタイマー.....	91
設定初期化.....	92
操作音.....	90
地域設定.....	72, 77
使いかた.....	87
時計設定.....	15, 91
トラックマーク消去.....	63
トラックマーク全消去.....	64
トラックマーク全分割.....	66
内蔵マイク感度設定.....	35
ファイル移動.....	59
ファイルコピー.....	60
ファイル名変更.....	69
フォルダ内消去.....	58
フォルダ名変更.....	68
プリセットリスト選択.....	79
ホームメニュー.....	20
放送局名変更.....	80
保護.....	71
本体情報.....	92

メモリー切り換え.....	25, 90
メモリー初期化.....	92
ランプ.....	90
録音可能時間.....	92
録音先フォルダ.....	28, 76
録音フィルター.....	35
録音モード.....	35
メモリーカード.....	25, 102
メモリー切り換え.....	25, 90
メモリー初期化.....	92

5行

ランプ.....	90
レビュー.....	31, 50
録音.....	28, 32
録音一時停止.....	31
録音可能時間.....	92
録音先フォルダ.....	28
録音時間.....	107
録音フィルター.....	35
録音モード.....	35
録音モニター.....	30
録音レベルガイド.....	30

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- ホームページで調べるには→ICレコーダー サポート・お問い合わせへ(<http://www.sony.jp/support/ic-recorder/>)
ICレコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。
- 電話・FAXでのお問い合わせは→ソニーの相談窓口へ(下記電話・FAX番号)
 - 本機の商品カテゴリーは[ICレコーダー]です。 • お問い合わせの際は、次のことをご知らせください。
 - ◆セット本体に関するご質問時：
 - 型名：ICD-UX543F/UX544F
 - シリアルナンバー：本体裏面に記載
 - ご相談内容：できるだけ詳しく
 - お買い上げ年月日
 - ◆ソフトウェアに関 質問の内容によっては、お客さまのシステム環境について質問させていただく場合があります。
連するご質問時： 上記内容に加えて、システム環境を事前に分かる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方 相談窓口	フリーダイヤル……………0120-333-020 携帯電話・PHS・一部のIP電話：050-3754-9577
修理 相談窓口	フリーダイヤル……………0120-222-330 携帯電話・PHS・一部のIP電話：050-3754-9599
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。	



左記番号へ接続後、最初の
ガイダンスが流れている間に
「303」+「#」を押してください。
直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX (共通) 0120-333-389

ソニー株式会社

〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

